

令和3年度実施

令和2年度 教育委員会事務事業点検・評価報告書



令和3年8月

海陽町教育委員会

はじめに

「地方行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」(昭和31年法律第162号)が、平成19年6月に公布され、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月1日から、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

このことから、海陽町教育委員会は、この規定を受け、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、報告書をまとめました。

今後とも町教育行政施策の更なる充実に向けた取り組みの推進に努めて参りますので、皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

1	実施方法	1
	(1) 点検及び評価の対象について	1
	(2) 点検及び評価の方法	1
	(3) 評価結果の取扱いについて	1
	(4) 評価スケジュール	1
2	教育委員会の活動状況	2
	(1) 教育委員会の組織	2
	(2) 教育委員会の会議の開催状況	2
	(3) 総合教育会議の開催状況	2
	(4) その他の活動	3
	① 会議・研修会等	3
	② 行事等	3
	③ 学校訪問	3
3	点検及び評価結果	4
	(1) 点検及び評価事業一覧	4
	(2) 事務事業評価シート	6
4	外部評価委員会の意見	5 9

【資料】

資料 1	海陽町第 2 期教育振興計画体系	6 2
資料 2	海陽町教育委員会外部評価委員会設置要綱	6 3

1. 実施方法

(1) 点検及び評価の対象について

点検及び評価の対象とする事業は、令和2年度海陽町教育基本方針に定める各施策に基づいて実施した事業を対象として行います。

(2) 点検及び評価の方法

教育委員会事務局において、各事業ごとに取り組んだ実績を整理し、一次評価を行います。一次評価は、事業所管係で評価管理シートを用い、次の評価基準（表1）により行います。

次に、点検・評価内容の客観性を確保するために教育に関して学識経験者を有する外部評価委員（外部評価委員名簿 表2）に二次評価をいただきます。

評価基準（自己評価）

表1

達成度評価	
目標達成率 100%超(目標を超えて達成している)	A
目標達成率 80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)	B
目標達成率 60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)	C
目標達成率 60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)	D

外部評価委員名簿

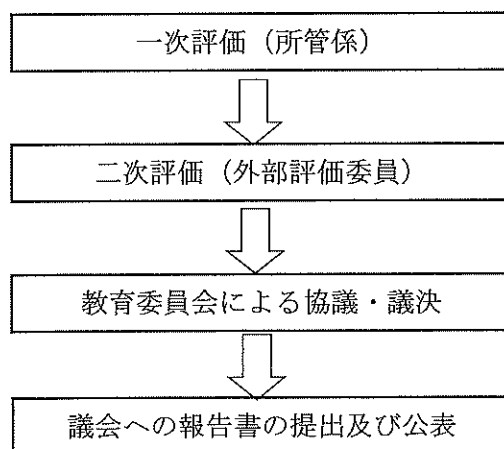
表2

事務点検・評価委員名	役職等
叶崎 正	元教育委員
登井 啓文	元小学校長

(3) 評価結果の取扱いについて

教育委員会が行う事務事業の点検及び評価に関する結果を報告書としてとりまとめ、毎年9月開会の町議会定例会に提出し、公表するとともに、翌年度における施策、事業の改善に役立てるものとします。

(4) 評価スケジュール



点検及び評価事業一覧

評価番号	事業名	教育振興計画の体系	事業所管係
1	第3期教育振興計画の策定	基本方針1・2・3・4・5・6	学校教育
2	学生生活応援事業「海陽町特産たくさんふるさと便」	基本方針1	学校教育
3	土曜学習の推進	基本方針1・2・5	学校教育
4	コミュニティ・スクールの充実（学校運営協議会の活用）	基本方針1・3	学校教育
5	放課後子ども教室の運営	基本方針1	社会教育
6	青少年健全育成活動の推進	基本方針1・2	社会教育
7	定期補導活動	基本方針1・2	社会教育
8	成人式	基本方針1	社会教育
9	学校活性化協議会	基本方針1・3	学校教育
10	スポーツ少年団助成	基本方針1・3	社会体育
11	特別支援教育の充実（巡回相談員の配置）	基本方針2・4	学校教育
12	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用	基本方針2・4	学校教育
13	町費助教員と特別支援教育支援員の配置（個に応じた指導の実施）	基本方針2	学校教育
14	学力向上推進	基本方針2	学校教育
15	幼児教育の充実	基本方針2	学校教育
16	通学補助金交付	基本方針2	学校教育
17	町内園校長会開催	基本方針2	学校教育
18	学校図書館の充実	基本方針2	学校教育
19	中学校部活動運営（合同体制）の充実	基本方針2	学校教育
20	地元高校魅力化推進補助	基本方針2	学校教育
21	スクールバス運営	基本方針2	学校教育
22	学校施設整備（移動式エアコン設置）	基本方針2	学校教育
23	学校給食の充実（地産・地消、給食センター運営）	基本方針2	学校教育
24	食育の推進	基本方針2	学校教育
25	学校給食調理業務民間委託事業	基本方針2	学校教育
26	防災教育の推進	基本方針2	学校教育

27	町奨学金貸与・おかえReターン海陽奨学金支援制度	基本方針2	学校教育
28	子どもあゆみ事業活用	基本方針2	学校教育
29	就学援助	基本方針2	学校教育
30	教育委員会表彰	基本方針2・3	学校教育・社会教育
31	公民館活動	基本方針3	社会教育
32	社会教育施設の充実（公民館・体育施設も含む）	基本方針3	社会教育
33	図書館の運営の充実	基本方針3	社会教育
34	文化館の運営の充実	基本方針3・1・2	社会教育
35	文化館自主事業（ドライブインシアター）	基本方針3	社会教育
36	文化協会	基本方針3	社会教育
37	文化村祭	基本方針3	社会教育
38	生涯教育の振興と充実	基本方針3	社会教育
39	新春ふれあい駅伝大会運営	基本方針3	社会体育
40	総合型スポーツクラブ運営補助	基本方針3	社会体育
41	体育協会助成	基本方針3・1	社会体育
42	人権教育の推進	基本方針4	社会教育
43	いじめ・不登校防止	基本方針4	学校教育
44	博物館の運営の充実	基本方針5・1・2・3	社会教育
45	文化財保護・活用	基本方針5	社会教育
46	阿波学会総合学術調査	基本方針6	社会教育
47	グローバル教育の推進	基本方針6・2	学校教育
48	英語検定補助	基本方針6・2	学校教育
49	ALT派遣事業	基本方針6・2	学校教育
50	I C T教育の推進	基本方針6・2	学校教育
51	G I G Aスクール構想（1人1台端末の整備）	基本方針6・2	学校教育
52	キャリア教育の推進	基本方針6	学校教育
53	統合型校務支援システムの導入	基本方針6	学校教育

2. 海陽町教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の組織

○教育委員会委員の就任状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

令和3年3月31日現在

氏名	役職	異動状況
三浦 良	教育長	平成30年6月21日 就任
富田 充宏	教育長職務代理者	平成28年5月28日 教育長職務代理者就任 令和2年5月28日 再任
ラフォンテーヌ裕子	教育委員	平成27年5月28日 就任 令和元年5月28日 再任
木戸口 貢 淳	教育委員	平成29年5月27日 就任
西宮 治	教育委員	平成30年5月27日 就任

(2) 教育委員会の会議の開催状況等

毎月1回定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催

	開催日	議案	協議事項	報告事項	計
第1回定例会	令和2年4月15日	2	2	4	8
第2回定例会	令和2年5月20日	3	2	2	7
第3回定例会	令和2年6月17日	1	2	4	7
第4回定例会	令和2年7月29日	1	2	6	9
第5回定例会	令和2年8月26日	2	0	6	8
第6回定例会	令和2年9月23日	0	3	7	10
第7回定例会	令和2年10月26日	1	1	8	10
第1回臨時会	令和2年11月12日	0	2	2	4
第2回臨時会	令和2年11月24日	0	1	0	1
第8回定例会	令和2年11月27日	1	2	5	8
第9回定例会	令和2年12月23日	1	1	2	4
第10回定例会	令和3年12月24日	3	1	0	4
第11回定例会	令和3年1月27日	2	4	1	7
第3回臨時会	令和3年2月18日	1	0	0	1
第4回臨時会	令和3年3月8日	3	1	1	5
第12回定例会	令和3年3月24日	6	3	2	11
計		27	27	50	104

(3) 総合教育会議

	開催日	議題・調整事項
第1回総合教育会議	令和2年5月20日	1. 海陽町教育大綱の制定について 2. 阿波海南文化村の活性化について
第2回総合教育会議	令和2年12月14日	1. 海陽町令和2年度成人式開催について
第3回総合教育会議	令和3年1月27日	1. 海陽町教育大綱の改定について

(4) その他の活動

①会議・研修会等

時 期	名 称	概 要
令和 2年 4月	徳島県市町村教育委員会教育行政連絡協議会	令和2年度徳島県教育重点施策について(年1回開催)
	徳島県市町村教育委員会連合会定期総会・研修大会	徳島県市町村教育長会合同理事会を受けた定期総会及び研修大会(年1回開催)
令和 2年11月	徳島県・市町村教育委員会教育委員等研修会	教育委員会制度の理念や教育及び教育行政に関する理解と見識をより深め、教育を取り巻く諸問題に的確に対応し、教育行政の円滑な推進を図る。

②行事等

時 期	名 称	概 要
令和 2年 4月	幼小中学校 入学式	幼稚園1園、小学校3校、中学校2校に分散し出席
令和2年9～10月	幼小中学校 運動会・体育祭	幼稚園1園、小学校3校、中学校2校に分散し出席
令和 3年 1月	成人式	延期
令和 3年 3月	幼小中学校 卒業式	幼稚園1園、小学校3校、中学校2校に分散し出席

③学校訪問

時 期	名 称	概 要
令和2年7～9月	町教委学校訪問	幼稚園1園、小学校3校、中学校2校へ3日間訪問

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	1
事業名	第3期教育振興計画の策定						教育振興計画の体系	基本方針1・2・3・4・5・6
事業費(千円)	平成30年度	0	令和元年度	0	令和2年度	3,089	所管係	学校教育係
事業目的	教育基本法第17条第2項に基づき、本町における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成28年に海陽町教育振興基本計画（第2期計画）を策定したが、この第2期計画が令和2年度末に終了したことから、令和3年度を初年度とする第3期海陽町教育振興基本計画を策定した。							
事業内容(Plan)	町長の施政方針を踏まえ、総合計画及び総合戦略との整合性の確保と施策の連携を図ることにより、学校教育、生涯学習、文化振興、生涯スポーツ、人権教育など、幅広い視点と実効性を持つ教育大綱とした。 第2期海陽町教育大綱における推進状況を踏まえ、中長期的視点を維持しつつ、社会情勢等の変化や新たな教育課題に対応する基本方針を整理した。							
事業の実施状況及び成果等(Do)	町の教育に関する状況や課題等を把握するために、アンケート調査を行い分析した。 【アンケート調査】 ①住民向けアンケート 対象者：海陽町内に居住する満40歳以上の人を対象に無作為抽出 配布数：300件 回収数：143件（回収率47.7%） ②保護者向けアンケート 対象者：町内の幼稚園、小学校、中学校※に通う園児・児童生徒の保護者全員 配布数：474件 回収数：410件（回収率86.5%） ③保護者向けアンケート（B票：保護者本人について） 配布数：316件 回収数：303件（回収率95.9%） ④教職員向けアンケート 配布数：96件 回収数：93件（回収率96.9%） 【策定委員会】 ①令和3年1月8日（金）②令和3年2月8日（月）③令和3年3月5日（金） 新たな計画の基本理念や施策体系の見直し、重点施策の検討等について協議を行った。							
一次評価(内部)(Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取り組みの方向性		拡充		今後の方針(Action)	必要に応じて、学校や地域住民に対するアンケート調査の実施や進捗状況確認シートの結果から、計画の目標の達成状況や現状を毎年度把握する。 また、数値目標を設定した事業については、数値目標による進捗評価も行う。			
		継続						
		縮小						
		見直し						
	○	休廃止						
二次評価(外部)	B	休廃止	社会情勢等の変化や新たな教育課題に対応する基本方針が整理できている。計画をより実効性のあるものとするため、進行管理(点検・評価)をしっかりと行っていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	2
事業名	学生生活応援事業「海陽町特産たくさんふるさと便」						教育振興 計画の体 系	基本方針 1
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	1,091	所管係	学校教育係
事業目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通常の学生生活を送ることが困難になっている、海陽町出身で町外で生活を送っている学生に特産品を送付する支援を行い、町への絆を深めてもらうとともに、物品調達による町内事業者の支援も併せて行うことを目的とする。							
事業内容 (Plan)	町外に住む学生等に対し、特産品を詰め込んだ「特産たくさんふるさと便」を対象者に送付する。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	【申し込み期間】 令和2年10月1日（木） から 令和3年1月31日（日） まで 【申込者数】 153名 【事業費】 10,000円×153名 = 1,530,000円 手数料（10%） 153,000円 送料 218,000円 1,901,000円							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性		拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止	今後の方 針 (Action)	学生達からは、感謝の言葉を多数いただき、「社会人になって海陽町に恩返しをしたい」「海陽町で働きたい」といった心強いメッセージも寄せられた。 令和3年度も「海陽町特産たくさんふるさと便第2弾」を実施する予定である。				
二次評価 (外部)	B	継続	事業のネーミングがすばらしく、事業目的が十分に達成できている。 今年度も町外に住むすべての学生に支援が届くよう広報等による周知を積極的に行っていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	3	
事業名	土曜学習の推進						教育振興 計画の体 系	基本方針 1・2・5	
事業費 (千円)	平成30 年度	647	令和元年 度	154	令和2年 度	37	所管係	学校教育係	
事業目的	学校、家庭、地域社会が連携し、様々な体験活動を行うことにより、「生きる力」を育成する。								
事業内容 (Plan)	教育委員会が主体となり小中学生を中心に据えて、地域の人々を巻き込みながら行う活動。地域の教育力を生かし、地域と一体となって地域社会の人材や自然、文化財等の豊かな社会資源を活用し、地域に根ざした体験活動や交流活動を行う。								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>令和2年度は、2種類 5事業を実施した。()内は参加者数</p> <p>1. 学校と連携した事業</p> <p>①防災学習(43) ②文化財めぐり(55)</p> <p>※防災学習は、コロナ感染症対策のため従来型の夏期休業中三校合同学習はやめて、10、11月に各校毎の出前授業の形で実施した。講師は、海南・海部・宍喰の各地域の方にお願ひし、実技指導は南部防災館職員にお願ひした。また、文化財めぐりも同様に 出前授業で行い、各校に応じたフィールドワークも実施できた。コロナ対策の面で各校にご理解をいただき、実施することができた。</p> <p>2. 地域住民(家庭)と一緒に活動した事業</p> <p>③植物採集教室(11) ④星空観察会(64)</p> <p>⑤海陽町の珍しい植物を見てみよう(4)</p> <p>※コロナ感染症拡大予防対策をしながら、実施できるものについては実施した。しかし、「室内ゲーム大会」「町内お城めぐり」等は中止となった。</p>								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)								
	B 目標達成率80%以上~100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)								
	○	C 目標達成率60%以上~80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
今後の取 り組みの 方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
		拡充	今後の方 針 (Action)	新型コロナウイルスは、まだまだ予断を許さない状況であるが町内外の感染状況を注視しながら、感染対策をして実施できる事業は実施していきたいと考えている。					
	○	継続							
		縮小							
	見直し								
		休廃止							
二次評価 (外部)	C	継続	コロナ禍の中、すべてを中止するのではなく、十分な感染対策を行って開催方法等に工夫して取り組めたことが評価できる。これからも子どもたちの教育課題に添った土曜学習を続けて欲しい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	4
事業名	コミュニティスクールの充実（学校運営協議会の活用）						教育振興 計画の体 系	基本方針 1・3
事業費 （千円）	平成30 年度	711	令和元年 度	190	令和2年 度	190	所管係	学校教育係
事業目的	保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」制度の導入により、地域の力を学校運営や児童生徒の育成に生かす「地域とともにある学校づくり」を推進する。							
事業内容 (Plan)	コミュニティ・スクールを平成30年度に町内の全小中学校に指定し、令和2年度で3年目を終了した。各校には学校運営協議会が、設置され地域とともに教育活動を展開している。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>各校は学校運営協議会を定期的開催し、学校と保護者及び地域住民と学校運営や児童生徒の状況に関しての情報交換や地域の教育力を生かした活動が行われている。そのことで、学校と保護者及び地域住民との信頼関係を深めるとともに、学校運営の改善や生徒指導上の課題解決、コロナ禍対策、学力向上に繋がっている。</p> <p>また、学校評価に委員の意見を反映させることで、学校関係者評価が効果的に実施され学校経営改善に繋がっている。</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	町内の各小中学校は、年々児童生徒数が減少しており、今後ますます地域とともにあることが重要となってくると考えられ、引き続きコミュニティスクールを実施していきたい。				
	継続							
	縮小							
	見直し							
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	学校と保護者及び地域住民との信頼関係を深めるとともに、学校運営の改善や生徒指導上の課題解決、学力向上、コロナ対策に繋がっており、評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	5
事業名	放課後子ども教室の運営							教育振興計画の体系	基本方針1
事業費(千円)	平成30年度	14,317	令和元年度	16,981	令和2年度	10,663	所管係	社会教育係	
事業目的	放課後に小学校児童を一時的に預かり、昼間仕事に従事する保護者に代わって、地域住民である指導員が見守り役をすることで、児童の安全、安心な居場所を提供する。								
事業内容(Plan)	<p>○放課後に、各種指導員のもと、町内3小学校の児童が社会教育施設、体育館、校庭等を活用し、安全な環境で学習活動、校外活動などに取り組んでいる。</p> <p>※対象児童・・・町内に在籍する児童（1年生～6年生）</p> <p>※開所日・・・月曜日～金曜日（祝祭日、長期休みは除く）</p> <p>※開所時間・・・授業終了後～17時00分</p> <p>※利用料・・・年間800円（保険代）</p> <p>※開催場所・・・海南地区 海南子ども館 海部地区 奥浦老人福祉センター 穴喰地区 穴喰小学校</p>								
事業の実施状況及び成果等(Do)	<p>○開室している3箇所全体で、200名の児童が参加登録しており、年間で185日前後実施している。</p> <p>○放課後子ども教室では、異学年が入り交じって遊ぶことのできる環境が提供できるため、低学年の面倒を高学年がみる等、健全な人間形成の場としての機能がある程度果たしている。</p> <p>○学校の先生とは違う見守り役としての地域住民である指導員との間のふれあいも世間一般的に希薄になりつつある地域社会との絆作りの意味で果たす役割は大きい。</p> <p>○各月の予定表を作るのはコーディネーターの重要な仕事で、学校長（または教頭）とコーディネーター（指導員は他に学習アドバイザー・安全管理員も一部含む）、町教育委員会の担当が定期的集まり、活動状況等の情報交換を行う。また、指導員は外部の研修会へも参加することで現場活動に生かしている。</p> <p>○本年度は、新型コロナウイルスの影響で開室が変則になり、3密を回避するために、年度後半になって初めて、全教室においてすべての学年の受け入れが可能になった。</p>								
一次評価(内部)(Check)	事業の達成度評価								
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取り組みの方向性		<p>○ 拡充</p> <p>○ 継続</p> <p>縮小</p> <p>見直し</p> <p>休廃止</p>	今後の方針(Action)	子どもたちの利便性を高め、より安全・安心な活動ができるように、現在使用している施設から順次、地区内の小学校の空き教室等を利用するように、準備を進めていきたい。穴喰地区は令和2年度より、穴喰ドリーム館から穴喰小学校へ活動場所を移して実施しており、海南地区、海部地区もこれに続けるように、学校との具体的な協議を引き続き行っていく。					
二次評価(外部)	B	継続	3つの教室共に子どもたちの安全安心な居場所になっている。今後も子どもたちの安全安心な居場所になるようハード面、ソフト面の整備を進めていただきたい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	6
事業名	青少年健全育成活動の推進						教育振興計画の体系	基本方針 1・2
事業費 (千円)	平成30年度	230	令和元年度	230	令和2年度	51	所管係	社会教育係
事業目的	青少年健全育成の推進のため、地域ぐるみでの健全育成への取り組みを図っている。家庭、地域の連携を通じた青少年の健全育成や、様々な奉仕・体験活動を通じた地域健全育成活動を推進する。							
事業内容 (Plan)	児童生徒の情報を共有し、密に連携取れるよう青少年育成海陽町民会議の運営委員が集まる会議や長期休業前の情報交換会を行っている。また地域の子どもを見守り育てる町内非行防止パレード、こども俳句の文化祭展示、豊かな心と郷土愛を育むような活動を行っている。							
事業の実施状況及び成果等 (Do)	<p>定期的に情報交換会を行い、児童・生徒の情報交換を行う場を設けている。そのときに児童・生徒の情報のみだけでなく、他校の懸案事項やそれに対する取り組み等の情報も聞ける良い機会となっている。他校の状況も知ることで自校の事前対策にもつながっている。地域の方々も会議に参加していただき、登下校の見守りなども行ってくれている。</p> <p>○総会研修会（中止） ○情報交換会（3回） ○防災学習（各学校毎） ○文化財巡り（各学校毎） ○文化祭俳句の展示 ○防犯パレード（中止）</p> <p>運営委員会並びに情報交換会の場で、新型コロナウイルスの影響によるリモート学習の取り組みの様子について、各小・中学校から現状報告をして頂いた。</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取り組みの方向性		拡充	今後の方針 (Action)	児童・生徒を見守っていつてもらえるような効果的な取り組みを行っていきたい。				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	青少年育成海陽町民会議による様々な取り組みは、「地域の子どもは地域で守り育てる」活動となっている。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	7
事業名	定期補導活動						教育振興 計画の体 系	基本方針 1・2
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係	社会教育
事業目的	補導活動を計画的に実践し、学校や関係諸機関との連携を深め、青少年の健全育成と非行防止活動に取り組む。							
事業内容 (Plan)	(1) 地域や関係機関との密接な連携を図り、日常の実践活動に活かす。 (2) 学校行事や地域の行事等に参加し、子どもの実態把握に努める。 (3) 地域の非行防止活動を推進する。 (4) 補導員の資質向上と必要な知識・技能の習得の為、各種大会及び研修会に参加する。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	(1) 定期補導活動の実施状況 ① J R 駅前駐車場放置車両等調査 (2回) ② 水泳場の調査、見回り (2回) ③ 放課後子ども教室見学 (2回) ④ 量販店、コンビニ店等への巡視 (2回) ⑤ 青少年町民育成会議 (毎学期1回) (2) 成果等 ① コロナ感染拡大防止の為、学校への訪問自粛・地域の祭礼中止・非行防止パレード中止と計画を変更しながら、できる最低限の補導活動を行った。 ② 青少年町民育成会議では、各学校との連絡・関係団体等との協同・地域との連帯感の強化を行った。 ③ 地域の子ども達とのふれあい不足の為、実態状況を十分に把握することができなかった。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上~100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	○	C 目標達成率60%以上~80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性		拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止	今後の方 針 (Action)	・地域や関係機関との連携を図り、日常の補導活動を充実させる。 ・地域や学校の行事に積極的に参加し、子どもの実態把握に努める。				
二次評価 (外部)	C	継続	コロナ禍で計画どおりに実施できていないところがあるが、毎月の定期補導により、子どもたちの様子が情報共有できている。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	8	
事業名	成人式						教育振興 計画の体 系	基本方針 1	
事業費 (千円)	平成30 年度	642	令和元年 度	658	令和2年 度	178	所管係	社会教育係	
事業目的	町をあげて人生の節目を祝うことで、ふるさとに誇りを持ち、厳しい時代に打ち勝つ逞しい社会人になるとともに、将来の地域の担い手として大きく前進することを願って実施する。								
事業内容 (Plan)	式典の対象となる新成人に企画から運営まで関わってもらうことで、新成人としての自覚を持ち、家族はもとより今まで関わってくださった多くの人々に感謝し、主体性と責任感を持ち合わせた人間として育つよう、思い出の残る充実した成人式を実施する。								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	8月に新成人と打合せ会を開催し、記念品の選定・式典当日の役割分担（司会等）の協議や、司会者との年末のリハーサルなど、新成人と企画段階から関わりを持つことで信頼関係も深まり、スムーズな式典運営が図れている。 また、新成人が企画段階から運営まで携わることで自らも責任感等が芽生え、それが式典の進行や雰囲気にも良い影響を与えている。さらに、成人者の多くが参加していることから、その成果が伺える。 成人式対象者数 96名 参加者数 未実施（1月2日） （令和元年度120名）（令和元年度97名） 新型コロナウイルスの影響により、次年度夏以降への成人式の延期が決定した。1月2日に実施する予定で準備していた為、記念品は購入済みである。								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
		B 目標達成率80%以上~100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	○	C 目標達成率60%以上~80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取 り組みの 方向性		拡充	○	継続	縮小	見直し	休廃止	今後の方 針 (Action)	新成人が企画運営に携わる良い伝統を継承しつつ、今後も思い出の残る良い成人式を新成人とともに考え運営していく。また、成年年齢下げ等の問題については、国の指針（情報等）や、他市町村の動向等も踏まえ検討を進めていく。
二次評価 (外部)	C	継続	延期になった成人式を新型コロナウイルス感染予防対策を十分に講じた上で、実施していただきたい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	9
事業名	学校活性化協議会						教育振興計画の体系	基本方針 1・3
事業費 (千円)	平成30 年度	195	令和元年 度	355	令和2年 度	293	所管係	学校教育係
事業目的	海陽町教育委員会の権限と責任の下、海陽町内の各学校及び教育全般の諸課題について学校運営の改善や児童生徒の健全育成及び町全体の教育内容の向上について取り組む。							
事業内容 (Plan)	海陽学校活性化協議会は大きく3つの役割を持つ。一つ目は、各小中学校の学校運営協議会の要としての役割である。二つ目は、町全体の教育課題の協議する場としての役割である。三つ目は、土曜学習のまとめの場としての役割である。そのため、中学校長2名、小学校長3名、小中PTAから1名ずつ、有識者、教育長、教育次長、CS担当職員の18名で会を構成し運営をした。主な教育議題としては、コロナ対策を含めた各小中学校の経営上の諸課題、海部高校の魅力化推進、土曜学習のあり方等があげられる。							
事業の実施状況及び成果等 (Do)	年間を通じて4回開催した。主な協議内容をあげる。 第1回（6月） 組織の立ち上げ、各小中学校の本年度スタート状況 第2回（8月） 各小中学校の学校運営協議会立ち上げ状況及び年間計画、土曜学習のあり方について、海部高校魅力化について 第3回（11月） 町内小中学校の今後のあり方について 第4回（2月） DMV導入に伴う海南文化村の活性化について、今年度の反省と活動報告							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取り組みの方向性		○	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止	今後の方針 (Action)	今後も海陽町の様々な教育課題について幅広く協議する場としての役割を果たしたい。			
二次評価 (外部)	B	継続	各小中学校の運営上の諸課題や海部高校の魅力化推進、土曜学習の在り方等について様々な角度からの意見交換により、子どもたちの健やかな成長につながっている。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	10
事業名	スポーツ少年団助成						教育振興 計画の体 系	基本方針 1・3
事業費 (千円)	平成30 年度	405	令和元年 度	405	令和2年 度	405	所管係	社会教育
事業目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図り、青少年にスポーツを振興し、以て青少年の心身に健全な育成を資することを目的とする。							
事業内容 (Plan)	スポーツ少年団への活動費助成（野球、バレー、ミニバスケットボール、卓球等）年一回、スポーツ少年団フェア（町内一斉奉仕清掃）などの活動をしている。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>今年は新型コロナウイルスの影響で様々な大会が延期や中止となったことを受け、6年生の「最後の活躍の場」を確保しようと、保護者が知恵を出し合い、ガチンコ杉の子カップ（クラブ主催 少女バレー）を実施したり、普段の大会（少年野球 大石杯）に比べ参加チーム数を大幅に減らし大会内容を縮小して実施したりと、工夫を凝らし大会運営を行った。</p> <p>※スポーツ少年団フェア（町内一斉奉仕清掃）中止</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	少子化のため、各クラブ単体では存続ができず、町越えてのチーム構成となっていたり、試合に出ても規定人数に足りず、参考試合になったりと、町内だけではチームの存続が難しく、今後部員数の改善見込みは薄い。 今後、町超えてのチーム構成へ方向を変えていくのか？町内でチーム構成ができる体制整備へと方向を変えるのか？ 早急な課題である。				
	継続							
	縮小							
	見直し							
		休業止						
二次評価 (外部)	C	継続	コロナ禍により、活動の制限が多くあったが、運営方法の工夫により、大会が実施できたことは評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	11
事業名	特別支援教育の充実（巡回相談員の配置）						教育振興計画の体系	基本方針 2・4
事業費 (千円)	平成30 年度	808	令和元年 度	927	令和2年 度	882	所管係	学校教育係
事業目的	障がいにより特別な支援を必要とする児童生徒に対して、支援体系の整備促進を行い、将来的に社会に適応し、充実した生活を送ることができる力を育む							
事業内容 (Plan)	(1) 特別支援連携協議会（年2回） ・ ・ ・ 地域を含めた関係機関が連携し、特別支援の整備促進を行う。 (2) 教育支援サポートチーム（年3回・研修会1回） ・ ・ ・ 特別支援学級等の就学についてのサポートを行う。 (3) 巡回相談員事業（臨床心理士・言語聴覚士） (4) 特別支援教育教材整備							
事業の実施状況及び成果等 (Do)	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 3月：コロナ禍における児童の状態の変化・工夫した対応についてのアンケートを実施。 (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、連絡会・研修会を中止。 6月～11月：連絡会で実施していたスクリーニング検査打合せ、教育支援委員会資料作成方法の打合せ、教育支援委員会聞き取り等については、保育所(園)・幼稚園・学校にて施設ごとに実施。 (3) 臨床心理士（4月中止以外は実施。定期の11回に加え、緊急の場合） 言語聴覚士（年2回） (4) デジタル教科書購入（海南小学校・海部小学校）・拡大読書器購入（突喰中学校） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止にせざるを得ない会議・相談があったが、同時にコロナ禍において配慮を要する児童については特に手厚い支援が必要であり、緊急で相談や学校へ繋いだケースもあった。スクリーニング検査から教育支援委員会の流れについては例年と異なる対応となったが、概ねスムーズであった。地域連携協議会については未実施であり、課題が残った。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取り組みの方向性		拡充	今後の方針 (Action)	・ コロナ禍においても児童生徒に対し、十分なサポートができるよう感染防止対策を徹底し、相談・事業を継続していく。 ・ 環境が改善した際にはスムーズに通常の流れに戻るよう、また、地域連携が再開できるよう準備を進めていく。				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	コロナ禍で会議や研修会が中止となったものが多いが、コロナ禍において配慮を要する児童生徒については、すばやく相談に繋ぐなどスムーズに支援ができており、評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	12	
事業名	スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー活用						教育振興 計画の体 系	基本方針 2・4	
事業費 (千円)	平成30 年度	0 (県費のみ)	令和元年 度	0 (県費のみ)	令和2年 度	0 (県費のみ)	所管係	学校教育係	
事業目的	いじめや不登校、虐待等、児童生徒や家庭の課題に対する相談活動の実施、あるいは支援機関との連携により、解決・改善することを目的とする。								
事業内容 (Plan)	○スクールカウンセラー 宍喰中学校区（宍喰中学校・宍喰小学校）1名 海陽中学校区（海陽中学校・海南小学校・海部小学校）1名 ○スクールソーシャルワーカー 海陽町内小中学校 1名 上記のように各校に配置し、相談事業を実施する。								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	(相談回数) スクールカウンセラー：海陽中学校区で週1回の相談を実施 宍喰中学校区で週1回の相談を実施 スクールソーシャルワーカー：海陽町内小中学校で2週に1回の相談を実施 (相談件数) スクールカウンセラー 宍喰中学校区 52件 海陽中学校区 136件 スクールソーシャルワーカー 78件 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを中学校に配置し、家庭や教員からの申し込みにより、生徒や保護者、教員の悩みや問題に対する面接及び訪問相談を行った。相談によって必要な場合は、町の教育委員会と連携し（ケースの情報共有や場所の提供等）、実施した。								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)								
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)								
今後の取 り組みの 方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
	○	拡充	今後の方 針 (Action)	スクールソーシャルワーカーについては日数が少なく、十分な対応が難しいため、必要性を県に伝え、週1回の配属を希望していく。					
		継続							
		縮小							
	見直し								
		休廃止							
二次評価 (外部)	B	拡充	いじめ・不登校・虐待等、児童生徒や家庭の課題に対して、相談や関係機関へのつながりが素早くできるよう、人的配置を県教育委員会へ積極的に働きかけていただきたい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	13
事業名	町費助教員と特別支援教育支援員の配置							教育振興 計画の体 系	基本方針2
事業費 (千円)	平成30 年度	58,650	令和元年 度	53,739	令和2年 度	54,328	所管係	学校教育係	
事業目的	言語・難聴・LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥多動性障害）等の障害を有する、または介助を要するなど特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活を支援し、特別支援教育の充実を図る。								
事業内容 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする児童生徒の安心・安全の確保。周囲の児童生徒とのコミュニケーション作りを通して、学校生活を豊かに過ごせるよう支援する。 支援を必要とする児童生徒の人数・状況を把握し、県費教員数では対応できない部分へ町費助教員を配置し、対応していく。 								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする児童生徒に対し、授業等における学習指導の支援・校外行事等における安全確保の支援及び校内における生活指導の支援等。 <p>（教育支援委員会判定結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級に在籍することが必要な児童生徒 69名（うち1対1対応が必要と学校等からの意見や希望があった児童・生徒 17名）それらの児童生徒のニーズに合わせて、町費助教員を配置した。（令和2年度 配置教員数 16名） <p>成果</p> <p>子ども一人一人の実態に応じたきめ細かな指導ができ、基礎基本の定着が図れた。また、ティーム・ティーチング・グループ学習・個別学習など指導方法等の充実を図ることができた。</p>								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取 り組みの 方向性		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 休廃止	今後の方 針 (Action)	対象児童生徒の障害の正確な情報を収集し、教育支援委員会との連携を一層密にし、適正な支援員配置に努める。					
二次評価 (外部)	B	継続	多様な指導方法の実践により、子ども一人一人の実態に応じたきめ細かな指導ができており、特別支援教育の充実が図れている。他の市町村には見られない教員配置であり、高く評価できる。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	14
事業名	学力向上推進							教育振興 計画の体 系	基本方針2
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係	学校教育係	
事業目的	小学校 ①基礎・基本の定着と児童の思考力を深める授業の実践 ②学校と家庭との連携による家庭学習習慣の確立 中学校 ①基礎・基本の定着を図りつつ、主体的に学ぶ力を伸ばす学習指導の工夫改善 ②キャリア教育を推進し、夢や希望を持って努力できる生徒の育成								
事業内容 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の学習や特別活動等において目標を設定し、主体的に取り組めるように促す。 家庭学習の仕方を指導する。 子供の関心を生かした魅力ある単元づくりを進める。 「なぜ」、「どうして」の疑問が生まれる発問の工夫をする。 								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> 自主学習の仕方の指導については、6割、「なぜ」、「どうして」の疑問が生まれる発問の工夫や教材の提示は7割を達成した。自主学習週間を設け、全学年の良い自主学習ノートを掲示し、意欲づけすることができた。 家庭学習時間達成児童は、84.2%で、目標を達成した。読書目標冊数達成児童も82.1%と学期が進むにつれて向上した。毎時間の目標提示はよくできているが、振り返りの時間が十分確保できていないという反省点がある。 家庭学習時間が2時間以上の生徒の割合は、年間を平均すると75%で目標をクリアすることができた。全体的に各学年とも、学期ごとに学習時間が増加してきた。 								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	○学力の二極化傾向を改善するまでには至っていないので、学習が苦手な生徒には適切な課題を提示し、個に応じたきめ細やかな学習指導を展開し継続していく。 ○主体的・対話的で深い学びに繋がる授業改善を生徒に発達段階に応じて積極的に取り入れる。 ○ICT機器を効果的に活用し、生徒の理解を促進させ思考力や判断力の育成に努める。各教科や朝自習等で学力向上確認プリントを使用して「活用力」を高めていく。 ○自主学習の手引きを活用し、宿題に加えて自主学習の習慣化と内容の充実を図る。					
	○	継続							
		縮小							
		見直し							
		休廃止							
二次評価 (外部)	B	継続	事業の目的が達成できている。今後も学力向上推進のため、ICT機器の効果的な活用、授業改善、家庭学習の習慣化を図っていただきたい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	15
事業名	幼児教育の充実						教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	29,382	令和元年 度	29,949	令和2年 度	35,191	所管係	学校教育係
事業目的	園児及び保護者に対して質の高い教育を提供できるように職員研修の充実を図り、また、育ちの連続性をふまえ保育所、幼稚園、小学校、中学校との連携の強化を図る							
事業内容 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会を行い、自園の課題に沿った研修を積極的に行う。 ・教育カリキュラムの接続のため、保育所、幼稚園、小学校、中学校の職員で合同研修を行う。 ・育ちの連続性をふまえた教育を意識して教育活動を行う。 							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>◎令和2年8月7日 阿波海南文化村大会議室 (20名) 鳴門教育大学 湯地 宏樹教授 演題「計画的な環境の構成及び教材研究の充実をめざして」 ～PDCAサイクルを活用して～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じながら、職員・郡内の関係者と研修を行った。 <p>◎特別支援研修会 阿南支援学校ひわさ分校の先生の「まなびの教室」を受講し、年間6回来園していただき、2月には園内報告会をもった。その中でAI-PAC（早期療育プログラム）を通して学びを深め、東京の指導者ともZOOMをつないで研修を行った。</p> <p>◎人権教育の基礎的学びの充実を図る。</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充		今後の方 針 (Action)	今後も職員対象に研修会を実施し、また、保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校と連携を強化するため、合同研修を目指す			
		継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	教職員研修の機会がたくさんあり、研修の充実が図られている。今後も育ちの連続性をふまえた教育内容の充実や保・幼・小・中・高の連携を図っていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	16
事業名	通学補助金交付						教育振興計画の体系	基本方針2
事業費(千円)	平成30年度	1,037	令和元年度	1,187	令和2年度	979	所管係	学校教育係
事業目的	遠距離通学費に要する経費の一部又は全部を補助し、保護者の経済的負担の軽減と対象児童・生徒の通学の安全を図る。							
事業内容(Plan)	<p>「海陽町遠距離児童、生徒通学費補助金交付要綱」の規定により補助を行う。</p> <p>(1) 小学校4km以上の遠距離通学の児童に交通機関の運賃に対して助成金を支払う。</p> <p>(2) 中学校6km以上の遠距離通学の生徒に交通機関の運賃に対して助成金を支払う。</p> <p>(3) 上記遠距離通学者で、自転車通学が認められる児童生徒には自転車購入に対して助成金を支払う。</p> <p>(4) 次の(1)～(3)の全てに該当する者に助成金を支払う。</p> <p>(1) 海陽町教育委員会が指定校変更を認めた者</p> <p>(2) 校区をまたいでの遠距離者（距離数は従来どおりで交通機関を利用）</p> <p>(3) 海陽町教育委員会が助成が適当であると判断した場合</p>							
事業の実施状況及び成果等(Do)	<p>【令和2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海南小学校 自転車購入助成(4km～) 0円 《R元年度 0円》 ヘルメット購入助成(2～4km) 0円 《R元年度 0円》 宍喰小学校 バス代助成(回数券・定期券購入) 1名 1,000円 《R元年度 4名 36,140円》 海陽中学校 バス代助成(定期券購入) 川上地区 8名 876,060円 《R元年度 9名 1,063,620円》 自転車購入助成(6km～) 0名 0円 《R元年度 1名 50,000円》 JR助成(定期券購入)(6km～) 1名 42,470円 《R元年度 1名 36,860円》 宍喰中学校 バス代助成(定期券購入) 1名 59,400円 							
一次評価(内部)(Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取り組みの方向性	○	拡充	今後の方針(Action)	今後も事業目的を継続し、保護者の経済的支援に努める。				
		継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価(外部)	B	継続	遠距離通学者の通学に要する費用の助成により、保護者の経済的負担軽減と児童生徒の通学の安全が図られている。継続していただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

						評価番号	17
事業名	町内園・校長会の開催					教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係 学校教育係
事業目的	教育委員会と学校現場が互いに共通認識・共通理解を図り、より良い学校教育を推進するとともに海陽町の教育の充実を図る。						
事業内容 (Plan)	町内の園・小中学校及び海部高校の校長が毎月、その時々のも種多様なテーマのもと、情報交換を行い、共通理解を図っている。 特に本町の特色として、幼稚園から高校まで、縦の繋がりを重視し、一貫した教育について、教育課題の解決に向けた話し合いを進めた。 今年度は、コロナの感染防止対策等について、臨時の園・校長会を5回開催し、共通理解を深めたについて町全体で教育活動速やかな対応を図った。行っている。						
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月1日（4協議ほか）臨時会 ・令和2年4月14日（9協議ほか） ・令和2年5月1日（4協議ほか）臨時会 ・令和2年5月7日（3協議ほか）臨時会 ・令和2年5月18日（3協議ほか）臨時会 ・令和2年5月21日（6協議ほか） ・令和2年6月19日（9協議ほか） ・令和2年7月21日（10協議ほか） ・令和2年8月19日（6協議ほか） ・令和2年9月25日（8協議ほか） ・令和2年10月26日（9協議ほか） ・令和2年11月12日（2協議ほか）臨時会 ・令和2年11月26日（8協議ほか） ・令和2年12月14日（7協議ほか） ・令和3年1月22日（7協議ほか） ・令和3年2月15日（7協議ほか） ・令和3年3月1日（2協議ほか）臨時会 ・令和3年3月19日（9協議ほか） <p>※幼小中高の連携が深められ、海陽町の教育目標の具現化とその実践に向け取り組めた。また、コロナ禍の中、オンライン学習等、工夫した教育活動に取り組めた。</p>						
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価						
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)					
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)					
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)						
今後の取 り組みの 方向性		拡充		今後の方 針 (Action)	引き続き、毎月定例園・校長会を実施し、より良い学校教育の推進と海陽町の教育の充実に努める。		
○	継続						
	縮小						
	見直し						
		休廃止					
二次評価 (外部)	B	継続	幼稚園・小学校・中学校・高校緻密な情報共有ができて、一貫した教育の実践につながっており、評価できる。				

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	18
事業名	学校図書館の充実						教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	1,183	令和元年 度	1,227	令和2年 度	1,036	所管係	学校教育係
事業目的	各学校の図書充足率向上を目指すとともに、児童・生徒の本に親しむ機会をつくり、学力の向上、調べ学習及び読書活動の充実を図る。							
事業内容 (Plan)	小・中学校の学校図書館の図書購入。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>児童・生徒の豊かな読書経験の機会を充実させていくためには、知的活動を増進し、多様な興味・関心に応える魅力的な図書を整備及び充実させていくことが必要となる。各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間などにおいて、多様な教育活動を展開していくためにも、図書の充実を図る。また新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、学校図書館へ感染拡大防止用の物品（消毒薬・マスクなど）の提供を行った。</p> <p>令和2年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海南小学校 80冊 247,120円 ・海部小学校 97冊 143,210円 ・宍喰小学校 133冊 200,000円 ・海陽中学校 143冊 247,560円 ・宍喰中学校 142冊 198,000円 							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	○	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	今後も児童・生徒の読書経験を充実させる機会をつくることで、学力の向上、調べ学習及び読書活動の充実を図る。				
	継続							
	縮小							
	見直し							
		休廃止						
二次評価 (外部)	A	継続	事業目的が十分に達成できている。学校図書館の感染防止にも十分に配慮できている。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	19
事業名	中学校部活動運営（合同体制）の充実						教育振興計画の体系	基本方針 2
事業費 （千円）	平成30 年度	1,291	令和元年 度	939	令和2 年度	1,270	所管係	学校教育
事業目的	海陽中・穴喰中の部活動を維持し、町内中学生の部活動選択肢を総合的に広げ、有意義な中学校生活に繋げる。							
事業内容 （Plan）	<p>(1) 部活動バスを活用して、両校の部活動現状体制を維持する。</p> <p>①単独・合同チームの送迎（週5日程度）に活用する。</p> <p>②土・日・祭日では、他校への合同練習・練習試合等に活用する。</p> <p>③穴喰中から海陽中・牟岐中までの送迎バスを運行する。（週3日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・往路 穴喰中→海陽中（バレー・サッカー）→牟岐中（体操） ・復路 海陽中（バレー・サッカー）→穴喰中 <p>(2) 部活動指導者研修会を開催し、指導者の指導力向上と生徒の体力・スキルアップを図る。</p>							
事業の実施状況及び成果等 （Do）	<p>(1) 部活動バスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単独・合同チームの練習・試合等でチームの強化・充実が図られた。2校の野球、バレー、サッカー部の合同チームを組んだ。 ・本事業により、中学校町内部活動体制が維持でき活性化し、生徒にとって有意義な中学校生活に繋がった。 ・使用回数 H29-69回（海・穴共有1台）、H30-125回（12月より2台）、R元-126回（3月臨休）、R2-110回（4/1～5/24臨休） <p>(2) 送迎バスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎バス運行により、指定校変更や区域外就学することなく穴喰中学校の生徒維持が保たれた。 ・使用日数 H30-119日、R元-122日（3月臨休）、R2-106日（4/1～5/24臨休） <p>(3) 部活動指導者研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大防止の為、研修会は中止とした。 							
一次評価 （内部） （Check）	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超（目標を超えて達成している）						
	○	B 目標達成率80%以上～100%（目標を達成、もしくは概ね達成している）						
		C 目標達成率60%以上～80%未満（目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する）						
今後の取り組みの方向性		拡充	今後の方針 （Action）	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化により両校部活動合同体制にあたり、スムーズに練習や試合等が行われるようにシステムを整えていく。 ・部活動の活性化、施設の有効利用、活動の工夫、指導者の指導力アップに繋げる。 ・海部高校への部活動活性化に繋げる。 				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 （外部）	B	継続	町内中学校の部活動の合同体制が機能しており、子どもたちの部活動の選択肢が広がっている。他郡市に見られない先進的な取り組みであり、評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	20
事業名	地元高校魅力化推進補助						教育振興 計画の体 系	基本方針2
事業費 (千円)	平成30 年度	7,497	令和元年 度	7,902	令和2年 度	8,430	所管係	社会教育
事業目的	人口減少が急速に進む地域の高校において、地域の新たな活力を創出するため、特色ある教育や学校の活性化を図り、生徒や保護者の関心を惹きつけるとともに、魅力ある教育により子どもへの支援を通して、生徒の維持、高校存続に努める。							
事業内容 (Plan)	海部高校の魅力化や学生の学力向上を目指して、通信衛星講座・スマホ学習、海外短期留学・英検・英語小中高交流体験、部活動の遠征や強化補助・人材育成PR動画の作成・高校地域説明会の実施。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>今年度の主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に関する事業（サテネット・Classi・オンライン英会話等） ・文化教養を深める事業（海外短期留学・京都賞への参加） ※コロナウイルス感染拡大防止により令和2年度は中止 ・文化スポーツ振興に関する事業（全国大会出場奨励金・全国級の選手獲得費） ・寄宿・下宿生に関する支援事業（おばちゃんのうちごはん・まち親制度の設立等） <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール部(県新人大会 4連覇 全国高校選手権県予選 優勝 3連覇) ・第2海部寮の完成 ・生徒数の維持（令和3年度入学生105名） ※目標値 毎年入学生100名 							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	○	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	今後については、より費用対効果の高い事業には手厚く支援し、効果が薄い事業には、高校・県と相談し、より高校魅力化に対して高い効果が期待できる事業にシフトしていく。				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	A	継続	海部高校の入学者数が目標値を超えている。地元高校魅力化推進事業が、高校入学者増加の一翼を担っている。ぜひ継続をしていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	21
事業名	スクールバス運営						教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	20,472	令和元年 度	16,185	令和2年 度	18,181	所管係	学校教育係
事業目的	遠距離通学児童の利便性および安心・安全な通学を推進する。							
事業内容 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ・園児・児童の登下校及び校外活動に運行する。 ・「海陽町スクールバス運営委員会」を開催し、スクールバスの運営を円滑に行う。 							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、バス内の密を防ぐため、5月より海南小学校浅川線を2線（浅川線・大里線）に分けて運行。 ・海南小学校（浅川線（浅川線・大里線）・相川線・小川線）・海部小学校・穴喰小学校の6台で運行。 令和2年度事故の件数は無し。 ・「海陽町スクールバス運営委員会」を開催（3/22） 翌年度におけるスクールバスの運行経路・乗車園児・児童の確認 ・車内の消毒を行う。 							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	今後も新型コロナウイルス感染症対策を行い、安全安心な運営に努める。				
	継続							
	縮小							
	見直し							
		休廃止						
二次評価 (外部)	A	継続	スクールバスの安全な運行や新型コロナウイルス感染症対策として、バス内の密を防ぐため、海南小学校浅川線を2線にするなど、子どもたちの安心で安全な通学に最大限の配慮がなされている。今後も安全な運行を続けて欲しい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

評価番号 22

事業名	学校施設整備（移動式エアコン設置）						教育振興 計画の体 系	基本方針2
事業費 (千円)	平成30 年度	49,816	令和元年 度	174,266	令和2年 度	19,320	所管係	学校教育係
事業目的	児童生徒の通う学校施設の維持管理及び運営を適正に行い、安全・安心な教育環境を将来に渡って提供する。							
事業内容 (Plan)	児童・生徒の体育館使用時における熱中症対策のため、町内全ての小学校・中学校の体育館に移動式エアコンを設置した。							
事業の実施状況及び成果等 (Do)	<p>○各小学校中学校移動式エアコン整備 ・事業費19,319,300円（設置工事費含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約年月日 令和2年10月29日 ・納入年月日 令和3年 2月18日 ・整備台数 町内全ての小・中学校へ2台ずつ <p>○夏場の体育館使用時の学校行事において、熱中症対策が出来るようになった。 また、体育館等の大型施設でのエアコン設置は、エアコン本体機器、配管や電気工事等の多額の費用がかかるが、比較的安価に導入出来た。</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○ B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取り組みの方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方針 (Action)	児童生徒に安全・安心な教育環境を将来にわたって提供するために、学校施設個別計画に基づき、学校施設の適正な維持管理や運営に努める。また、児童数の増減を適切に把握し、長期的視野に立った更新について検討していく。					
二次評価 (外部)	A	継続	熱中症対策のため、全ての小学校・中学校の体育館に移動式エアコンを設置したことは、他郡市にない取り組みであり、十分に評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

評価番号 23

事業名	学校給食の充実 (地産・地消、給食センター運営)						教育振興 計画の体 系	基本方針 2									
事業費 (千円)	平成30 年度	101,351	令和元年 度	57,232	令和2年 度	54,847	所管係	学校給食係									
事業目的	地域への愛着、農業への興味や理解を深め、食に対する正しい考え方を身につけてもら うことを目的で安全安心な地場産物を「給食」に活用。																
事業内容 (Plan)	安心安全な地産地消を取り入れた魅力のある給食を提供する。																
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>・海陽町産の米、野菜類などを活用。阿波尾鶏は月1回使用。</p> <p>・海陽町の食材を味わう日として毎月19日を「食育の日」としている。 6月:じゃがいも 7月:おくら・なすび 8月:なすび 9月:なすび 10月:ひじき 11月:さつま いも 12月:大根 1月:大根 2月:大根・きゅうり・人参・ピーマン 3月:人参・スティックブ ロccoli</p> <p>●令和2年度学校給食における地場産物活用状況調査結果●</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>県活用率(平均)</th> <th>海陽町活用率(平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月期</td> <td>44.5%</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>11月期</td> <td>39.9%</td> <td>38.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症対策による学校休業のため、5月25日からの実績</p>									県活用率(平均)	海陽町活用率(平均)	6月期	44.5%	41.2%	11月期	39.9%	38.2%
	県活用率(平均)	海陽町活用率(平均)															
6月期	44.5%	41.2%															
11月期	39.9%	38.2%															
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価																
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)																
	○	B 目標達成率80%以上~100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)															
		C 目標達成率60%以上~80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更 等、大幅な改善を要する)															
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	引き続き生産団体や担当課と連携をとりながら地場産物を 積極的に利用し、活用率の向上と安全安心な給食提供に努 める。													
	○	継続															
		縮小															
		見直し															
		休廃止															
二次評価 (外部)	B	継続	地場産物を学校給食に活用し、食に関する指導の教材として用いるこ とにより、子どもたちが、より身近に、地域の自然、食文化、産業等 について理解を深めることができている。今後も安心・安全で魅力あ る給食の提供に努めていただきたい。														

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

						評価番号	24
事業名	食育の推進					教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係 学校教育係
事業目的	学校を中心に家庭や地域と連携を図りながら、さまざまな学習や体験活動を通して食に関する関心や理解を高め、子どもの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図る。						
事業内容 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ・「海陽町学校食育推進委員会」を開催する。 ・地場産食材を使用した学校給食の日々の献立を通して、子どもたちの地域の農林水産物や産業への理解を深め、郷土への愛着を深める。 ・食生活アンケートの実施や県食育推進パワーアップ作戦の授業を実施し、食育の推進を図る。 						
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ・「海陽町学校食育推進委員会」 7/1開催 ・海陽の食材を味わう日（毎月19日）に海陽町産食材を使った学校給食献立を実施。広報として「給食だより」を利用。 ・卒業生に「子どもあゆみ事業（卒業生地産地消食材費補助）」より阿波尾鶏の卵を使ったプリンと焼き菓子を提供。 ・食生活アンケートの実施（7月） ・徳島県学校食育推進パワーアップ作戦で町内の該当学年で同じ学習内容を教諭等と栄養教諭によるTT授業で実施。（小学2・3・4年、中学1・2年）また、パワーアップ作戦の対象でない学年においても、給食の時間などを活用した栄養教諭による食に関する指導を進めた。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う需要の減少により影響が生じている県産の食材を、国の補助事業を活用して給食に提供。 <p>子どもたちの食生活に関する正しい理解と望ましい習慣の醸成のため、上記事業を行い食育の推進に努めた。</p>						
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価						
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)					
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)					
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)					
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)						
今後の取 り組みの 方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方 針 (Action)	食生活アンケートの結果をふまえて、望ましい食習慣・食生活を見直すとともに、地域の産物を理解し、食への感謝の気持ちを育むよう努める。			
二次評価 (外部)	B	継続	海陽町学校食育推進委員会を中心に食育に関する様々な取り組みにより、子どもたちの食への関心や理解が深められ、健全な食生活につながっており評価できる。				

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

						評価番号	25
事業名	学校給食調理業務民間委託事業					教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係 学校教育係
事業目的	給食センターの給食調理等業務を民間委託にすることにより、安定的な人材の確保、安心安全でおいしい給食の提供、民間企業の専門的な知識・技術を活用し、給食サービスや業務の効率の向上を図る。						
事業内容 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ・公募型プロポーザル方式で業者選定 ・契約期間は令和3年4月1日から令和6年3月31日（3年間） ・業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ①物資検収時の受取、検温、格納時の補助業務 ②調理業務（アレルギー対応食も含む） ③原材料及び調理後の食品の保存食摂取、保管業務 ④配缶業務及びコンテナへの積み込み業務 ⑤食器具等の洗浄・消毒、保管及び日常点検 ⑥残食等の計量及び処理業務 ⑦施設・設備の清掃及び安全点検と記録業務 ⑧使用物品の管理業務 ⑨給食センターの清掃業務 ⑩衛生管理業務 ⑪前各号に付帯する業務 						
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>令和2年7月28日 第1回検討委員会（海陽町学校給食センター運営委員会） 8月19日～9月3日 幼小中保護者説明会 9月24日 第2回検討委員会（海陽町学校給食センター運営委員会） 10月28日 臨時議会（債務負担行為承認） 10月30日 募集要項等の公表 11月9日 募集要項等に関する説明会及び施設説明会 12月4日 公募型プロポーザル選定審査委員会 12月8日 委託事業者の決定 12月24日 契約締結 ～令和3年3月31日 委託業務開始準備 4月1日 委託業務開始 4月6、7日 給食試食会（海陽150食・穴喰100食）</p> <p>※委託業者 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社</p>						
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価						
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)					
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)					
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)					
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)						
今後の取 り組みの 方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止	今後の方 針 (Action)	今後は、委託業者と連絡を取り合い、安心安全でおいしい給食を提供する。			
二次評価 (外部)	B	休廃止	計画的に民間委託ができたことは、評価できる。今後も、委託業者と連携を図りながら、安心安全でおいしい給食を提供していただきたい。				

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

						評価番号	26
事業名	防災教育の推進					教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係 学校教育関係
事業目的	学校における防災教育の充実を図り、災害が発生した場合に、自らの身を自らで守れるよう児童生徒の防災力を育む。						
事業内容 (Plan)	<p>○地震等の災害を防止軽減するための時間帯に応じた具体的な対処行動を避難訓練を通して、児童生徒によく理解させ、しっかり身につけさせる。</p> <p>○毎年学校防災管理マニュアルの見直しを図るとともに、年間計画に、防災計画、避難訓練を位置づける。</p>						
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>・地震・津波発生時の対応訓練の実施。（水平避難・垂直避難）</p> <p>・火災発生時の対応訓練の実施。</p> <p>・水難救助訓練の実施。（人工呼吸・AEDの使い方）</p> <p>・消火訓練の実施。（消火器の使い方）</p> <p>・土曜学習として防災学習の実施。（町内小学校5年生を対象に10・11月実施）</p> <p>・町防災避難訓練への参加。（12月実施）</p> <p>成 果</p> <p>○地震や津波が自分にとっても身近は問題であることをとらえ、避難等について考えることができた。また、地震が起きたら、どんな被害があるか話し合い、実際にブロックを抱えたりする体験をおして具体的に考えることで、地震時の避難について真剣に考える姿が見られた。</p>						
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価						
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)					
D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止	今後の方 針 (Action)	自分の命は自分で守れるよう、継続的な防災訓練等を積み重ねていく。			
二次評価 (外部)	B	継続	コロナ禍の状況の中であったが、計画的に防災教育が実施できている。災害が発生した場合に、自らの身を自らで守れるよう、今後も学校における防災教育の充実を図っていただきたい。				

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	27
事業名	町奨学金貸与・おかえReターン海陽奨学金支援制度						教育振興計画の体系	基本方針2
事業費(千円)	平成30年度	18,180	令和元年度	22,176	令和2年度	19,278	所管係	学校教育係
事業目的	1. 経済的理由により修学が困難な者に対して奨学金を貸与する。 2. 返還助成制度により、本町へのUターン及び定住、地元就職の促進を図る。							
事業内容(Plan)	1. 町奨学金貸与について ・海陽町奨学金貸与条例に基づき、毎年4月初旬までに申請、4月下旬審査会、5月上旬決定通知、5月中旬誓約書等の提出後、5月末までに1回目の貸与、以後計4回に分けて貸与。 2. おかえReターン海陽・奨学金支援制度について ・Uターン就職者の奨学金返還を支援する制度で、4年制大学卒業者の場合、年間最大24万円を最長10年間助成する。対象奨学金は町奨学金、日本学生支援機構奨学金、県社会福祉協議会教育支援資金の3種類。特色としては、海部高校卒業生も対象としている。							
事業の実施状況及び成果等(Do)	1. 町奨学金貸与について 奨学生審査委員会(4/28)で審査 ・貸与決定者6名 内訳(高校等2名3年間、大学等4名4年間) ・継続貸与者25名(高校等2名・大学等23名) (高校等 月額15,000円・大学等 月額50,000円) 令和2年度貸与額合計 16,920,000円 2. おかえReターン海陽・奨学金支援制度について (申請受付(5月)→審査→交付決定→奨学金返還完了→実績報告→審査→助成金交付) ・認定者(交付決定者)11名 ・助成金 2,342,000円							
一次評価(内部)(Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取り組みの方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
		拡充	今後の方針(Action)	・奨学金貸与については、広報等で経済的支援である奨学金貸与制度の周知を図る。 ・奨学金返還助成制度については、更に制度の周知徹底を図りながら新規申請者の獲得、及び定住・定着に向けて取り組む。				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
	休廃止							
二次評価(外部)	C	継続	おかえReターン海陽・奨学金支援制度の活用者の人数が目標を下回っていたが、本町へのUターン及び定住、地元就職の促進を図るための実効性のある事業であるので、おかえReターン海陽奨学金支援制度の周知の徹底と工夫ある運営に努めていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	28
事業名	子どもあゆみ事業活用						教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	16,879	令和元年 度	15,647	令和2年 度	21,397	所管係	学校教育係
事業目的	少子化対策の施策として、安心して子どもを生み育てることができ、次代を担う子どもが健やかに成長できる環境を整備し、子どもの未来に夢や希望を持てる町の実現に資することを目的とする。							
事業内容 (Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校学校給食費補助（地産地消分・小6中3地産地消分・給食費） ・第3子以降給食費補助 ・幼稚園給食副食費助成 ・新小中1年生体操服購入費助成 ・第3子以降中学卒業祝金 ・防災教育 ・小学生を対象とした英語教育 ・幼稚園第3子保育料（預かり保育料含む）無償化 ・子どもあゆみすくすくクーポン事業 							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>【令和2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費補助… <ul style="list-style-type: none"> 小学校 延べ3,275人 3,331,678円 中学校 延べ1,943人 2,778,438円 区域外特別支援就学者 延べ11人 13,200円 合計 延べ5,229人 7,253,316円 ※新型コロナウイルス5月保護者負担分を経済的支援として補助 ・第3子以降給食費補助…98人 3,550,670円 ・幼稚園給食副食費助成金…12名 496,512円 ・新小中1年生体操服購入費助成…96人 480,000円 ・第3子以降中学卒業祝金…16人 800,000円 ・防災教育…野外体験活動（海陽中2年） 26,546円 防災食（救給五目ごはん）購入 193,200円 ・小学生を対象とした英語教育…臨時職員人件費 3,740,128円 ・子どもあゆみすくすくクーポン事業…450人・10,000円商品券 4,855,762円 							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	今後も子どもを持つ保護者、多子世帯の保護者に対し、経済的支援を行い少子化対策の施策として継続していく。今年度の防災教育で野外体験活動を行ったところ、学校より来年も行いたいと要望があった。今後もこのような防災に関する活動を行っていききたい。				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	子どもあゆみ基金の活用により、様々な事業が展開されており、子どもたちが健やかに成長できる環境が整備されている。継続していただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	29
事業名	就学援助						教育振興 計画の体 系	基本方針 2
事業費 (千円)	平成30 年度	4,908	令和元年 度	5,245	令和2年 度	4,571	所管係	学校教育係
事業目的	経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。							
事業内容 (Plan)	町内小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者が、生活保護を受けているか、世帯全員の収入額が教育委員会の定めた認定基準額を下回る場合対象となる。 認定された保護者に対し、学用品費※、新入学学用品費※、校外活動費、修学旅行費、給食費、学校病医療費、（※が付記された援助費目以外は実費）を支給する。 当事業は一部が国の補助金対象事業となっている。 今年度より、新入学児童生徒準備費の入学前支給を行う。							
事業の実施状況及び成果等 (Do)	<p>【令和2年度実績】</p> <p>要保護世帯7世帯11人・準要保護37世帯58人（R3.3.31現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 要保護児童及び準要保護児童 支給合計 3,954,926円 <p>新入学児童生徒準備費</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校新入学 5人 255,300円（新規3世帯・継続2世帯） 中学校新入学 5人 360,000円（継続6世帯） 支給合計 615,300円 <p>◎支給総合計 4,570,226円</p> <p>国庫支出金（要保護児童生徒費補助金）1/2補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 小学校 4,000円・中学校 0円 医療費 小学校 0円 補助金合計 4,000円 							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	今後も就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給し、経済的支援を行う。				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	今年度より、新入学児童生徒準備費の入学前支給も実施され、子どもたちが安心して学習ができるよう学習環境が十分に整えられている。引き続き事業の円滑な実施に努めていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

						評価番号	30
事業名	教育委員会表彰					教育振興 計画の体 系	基本方針 6
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係 学校教育係
事業目的	海陽町の学業、文化及びスポーツ等の振興に貢献し、その功労又は功績が顕著である個人、団体等を表彰することにより、積極的に学習やスポーツに取り組もうとする意欲やチャレンジ精神を喚起する。						
事業内容 (Plan)	町内の学校の児童・生徒、又はその団体で、文化活動又はスポーツ活動において特に優秀な成績を収めたもの、児童又は生徒として他の模範とするに足る行為のあったものに対し表彰する。						
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	町内の学校の児童・生徒、又はその団体で、文化活動又はスポーツ活動において特に優秀な学業を収めたもの、児童又は生徒として他の模範とするに足る行為のあったものに対し表彰状を授与した。 海南小学校 1名 (学術・芸術・文化 1名) 宍喰小学校 1名 (スポーツ 1名) 宍喰中学校 6名 (スポーツ 4名、学術・芸術・文化 2名)						
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価						
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)					
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)					
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)					
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)						
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止	今後の方 針 (Action)	これからも、学業や文化活動、スポーツ活動においてより多くの児童・生徒に活躍できる場を提供し、何事にも意欲的に取り組めるよう促していきたい。			
二次評価 (外部)	B	継続	表彰により、子どもたちが学習やスポーツ・文化活動等に取り組む意欲に繋がっている。継続していただきたい。				

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	31
事業名	公民館活動						教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	1,218	令和元年 度	842	令和2年 度	0	所管係	社会教育
事業目的	地域の連帯感を醸成し、学校などの関係機関、団体と連携して、地域に根ざした公民館活動を展開する。							
事業内容 (Plan)	地域意識の希薄化・コミュニティの弱体化が進むなか、地域活動の拠点である公民館を中心として、地域の方が交流親睦を深められるような活動を推進していく。年度当初に会議を持ち年間計画を話し合い、その次に球技大会や共楽運動会などの打ち合わせの会、その後反省会などを持ちつつ、年間行事を進めている。また、公民館活動の理解促進、活動周知等を主たる目的とし活動状況の広報をする。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	各公民館で会議を持ち、各々年間計画に基づいて事業を進めている。会では各分館の状況などに合わせて事業内容を変更したり、次年度に向けて改善の案なども出て活発な意見交換ができています。また、公民館活動を公民館報でお知らせし活動状況を発信している。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、共楽運動会・グランドゴルフ大会・公民館大会の開催を中止。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性		○	拡充	今後の方 針 (Action)	今後も地域交流の場である公民館活動を進めていく。			
		○	継続					
			縮小					
			見直し					
			休廃止					
二次評価 (外部)	C	継続	コロナ禍により、大きなイベントが中止となったが、町内会等の地域団体による地域コミュニティ活動は、地域住民の親睦・交流や防災防犯、安全安心な環境づくりなど、大変重要な役割を担っているため、感染防止対策を十分に講じた上で開催を続けていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	32
事業名	社会教育施設の充実（公民館・体育施設も含む）						教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 （千円）	平成30 年度	46,888	令和元年 度	56,073	令和2年 度	108,447	所管係	社会教育
事業目的	海南文化村・公民館・体育施設等の町社会教育施設の維持管理や利用促進に努め、地域住民の自主的な社会教育の推進・充実を図る。							
事業内容 (Plan)	町社会教育の拠点施設である海南文化村を中心に、公民館施設や体育施設などの維持管理や利用促進に努め、住民が社会教育活動へ参加しやすい環境づくり等に取り組む。阿波海南文化村がDMVの始発駅となるため、各施設において来場者が利用しやすい環境づくりに取り組む。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>町内社会教育施設については、地域コミュニティの形成や、地域スポーツ・文化活動の推進や育成という意味で、非常に重要な役割を担っており、多くの団体・チーム等が利用していることから、その必要性和効果が伺える。 引き続き、施設・設備等の維持管理（保守・修繕等）や利用促進に努める。</p> <p>○主な工事費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMVバス乗合所新設その他改修工事 9,093千円 ・海南文化村施設屋根等修繕工事 6,305千円 ・海南文化村施設温水洗浄便座取替工事 2,673千円 ・博物館常設展示室系統エアコン修繕工事 2,178千円 							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
今後の取 り組みの 方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
		拡充	今後の方 針 (Action)	社会教育施設の維持管理や利用促進等に努め、地域に根ざした社会教育活動拠点の充実を図る。				
	○	継続						
		縮小						
	見直し							
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	全ての地域住民に、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供することができるよう今後も施設の維持管理に努め、住民が利用しやすい環境づくりを継続していただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	33
事業名	図書館の運営の充実						教育振興計画の体系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	27,605	令和元年 度	29,036	令和2年 度	29,894	所管係	社会教育係
事業目的	図書及びその他の資料を収集・整理・保存し、すべての住民に必要な情報を提供するとともに、文化交流や生涯学習の中核的な役割を担う。							
事業内容 (Plan)	1. 貸出業務（館内貸出, 相互貸借, 移動図書館, 団体貸出, 学校行間貸出） 2. レファレンスサービス 3. 予約・リクエストサービス 4. コピーサービス 5. ホームページ運営 6. ブックスタート事業 7. マガジンリサイクル 8. 特設コーナー設置 9. しゃべらん会読み聞かせ 10. 海部公民館まちライブラリー 11. 阿南図書館電子書籍貸出協力 12. 阿南・那賀・海部定住自立圏事業の促進 13. 学校図書館システム支援 14. おはなし会開催 15. 植物教室開催 15. 名付けの会・工作教室開催 16. 人権学習会開催 17. 絵画等作品展示							
事業の実施状況及び成果等 (Do)	<p>「いつでもどこでもだれでも」をモットーに、できるだけ多くの方に多くの資料を提供できるよう、様々な事業に取り組んできた。第2次子どもの読書活動推進計画の策定を行ったが、アンケートなどから学校などとの連携をすることが課題であることが分かった。従来のブックスタートやおはなし会なども継続して行っていきたい。</p> <p>高齢者への図書館サービスを考えた場合、アクセシビリティや視力・聴力に対応した資料提供という点で対応できていない課題が多い。</p> <p>資料の貸出状況については、総数で前年度より11,395冊減少している。要因として、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から6月の移動図書館車の学校などへの巡回を休止したことや館内閲覧制限を行ったこと、来館者が減少していることなどがあると考えられる。新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、図書消毒機の購入や衝立の設置なども行っているため、対策の周知をしてもまずは従来の来館者数に戻すことにつなげたい。</p> <p>○貸出状況 貸出総冊数 81,858冊（元年度 93,253冊） 一人あたり貸出冊数 9.2冊（元年度 10.2冊）</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取り組みの方向性		拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止	今後の方針 (Action)	コロナ禍という新しい社会の在り方を問われる中で、図書館の在り方も一度考える必要がある。来てもらう図書館から歩み寄る図書館を目指す。				
二次評価 (外部)	B	継続	コロナウイルス感染拡大防止による休館等により、来館者や貸出冊数が減少したが、図書消毒機の導入やパーテーションの設置など、来館者の安全安心な図書館運営に努めていることは評価できる。今後も住民のニーズに合った本の整備や活動の工夫に一層努めていきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	34
事業名	文化館の運営の充実						教育振興 計画の体 系	基本方針 3. 1. 2
事業費 (千円)	平成30 年度	32,262	令和元年 度	47,634	令和2年 度	75,326	所管係	社会教育
事業目的	文化館は町民の生涯学習の拠点であり、団体のサークル活動や、各種イベントを開催する事で、教育文化や芸術活動の向上発展に努め、施設の有効利用を図っていく。							
事業内容 (Plan)	文化村まつり、文化協会祭、映画上映、文化祭、公民館大会、自主事業等町民が参加できるイベントを開催し、施設の利用促進を図っている。又、文化村施設内の工芸館において、藍染め体験や木工体験を定期的に行い、生涯学習の推進にも繋げている。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、企画していたイベントは殆ど中止になり、唯一文化祭の作品展示だけが開催出来ただけであった。その為文化館使用も大幅に減少してしまった。その中でも新しい試みでライブインシアターを開催し、大盛況を収める事ができたのは非常に有意義だったと思う。又生涯学習においても、コロナに負けるな藍染めマスク体験において、多くの町民の参加があった事はとても良かったと思う。今後コロナが下火になるまでどれ位かかるかわからないが、工夫を凝らし出来ることを考えながら、感染症対策と共に文化館利用率アップに繋げていく事が一つの目標となる。</p> <p>文化館利用者 2,668名 (令和元年度 9,893名) ▲7,225名 文化館使用料 676,830円 (令和元年度 1,826,098円) ▲1,149,268円</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	B 目標達成率80%以上~100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	C 目標達成率60%以上~80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
○ D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取 り組みの 方向性	○ 拡充		今後の方 針 (Action)	新型コロナウイルス感染症により、集客の見込めるイベントがなかなか開催出来ない状況であるが、その中でも何が出来ることなのかをよく考え今後の対策を練る必要がある。又文化村がDMVの発着場となり、来館者が増えると考えられるので、いかに魅力ある施設作りや活性化が図れるかが今後の課題である。				
	○ 継続							
	縮小							
	見直し							
○ 休廃止								
二次評価 (外部)	D	継続 コロナ禍により各種イベントや団体のサークル活動等の中止により文化館の利用者や文化館の使用料収入が大幅に減少したが、ライブインシアターの開催や藍染めマスク体験の企画など、コロナ禍の状況の中で運営方法に工夫により、事業を実施したことは評価できる。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	35
事業名	文化館自主事業(ドライブインシアター)						教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	788	令和元年 度	713	令和2年 度	720	所管係	社会教育係
事業目的	優れた芸術・文化鑑賞の場を提供することで、町民の自主的な文化・芸術活動の推進を図る。							
事業内容 (Plan)	学校・地域・関係機関と密接な連携を図り、映画上映会や、児童演劇巡回講演の開催など、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供する。また、文化館の有効活用も図っていく。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの公演やイベントが中止となってしまったが、映画上映会については、ドライブインシアターの形式で2回行った。コロナ禍でイベントの開催が縮小傾向の中、住民の芸術文化への関心や情緒豊かな感性を育むために、可能な方法を模索し、実施できたことは1つの成果となった。</p> <p>「リメンバーミー」 定員40台 動員39台 「アラジン(実写版)」 定員40台 動員40台</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	住民の芸術文化への関心や情緒豊かな感性を育むため、今後も可能な方法を模索し、事業の展開を行って行く。				
		継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	コロナ禍でイベント開催が縮小傾向の中、住民の芸術文化への関心や情緒豊かな感性を育むために、可能な方法を模索し、ドライブインシアター実施したことは大いに評価ができる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	36
事業名	文化協会						教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	827	令和元年 度	817	令和2年 度	192	所管係	社会教育係
事業目的	本会は、海陽町に所在する芸術文化団体相互の連絡を密にし、芸術文化の高揚に努めるとともに、町民文化の融和と交流を図り、豊かな郷土文化の創造と発展に寄与する。							
事業内容 (Plan)	※文化祭（秋） ・海南会場・・・作品展示（約400点）、芸能大会（中止） ・海部会場・・・作品展示（約250点） ・宍喰会場・・・作品展示（約300点）、芸能大会（中止） ※年間を通じて、三幸館ギャラリーを各団体が1ヶ月から2ヶ月のローテーションで、会員の作品を展示、紹介している。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	○文化協会祭と視察研修は、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。 ○三幸館ギャラリーは、4月に水墨画展、5月～6月に写真展（但し5月は感染防止の 為中止した）、7月～8月に絵画展、9月に染色展を実施した。その後、10月以降 は、三幸館の用途変更（新年度実施予定のDMV関連計画における仕様による模様替え） により使用不可となり、年度末まで作品展示は休止した。その為、新年度にはギャラ リーの実施場所を他の会場へ移転する計画で準備することになった。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
		拡充	今後の方 針 (Action)	会員の高齢化が進み、会員内部から事業の統合の意見が出始めている。一方、新会長就任により、会員の知識向上を目的に研修の機会を新たに計画している。今後、事業の取捨選択について十分話し合い、本会の目指すべき方向性を共有する必要がある。(例) 芸能大会については年間に、会員として出場する文化協会祭以外にも、文化祭、公民館大会にも出場の機会があり、統合の具体化を検討していきたい。				
		継続						
	○	縮小(統 合)						
		見直し						
	休廃止							
二次評価 (外部)	C	縮小(統 合)	コロナ禍で大きなイベントが中止となっているが、今後も地域の芸術文化の発展に向けてコロナ禍でも実施できる効果的な文化協会の運営に努めていただきたい。また、文化協会祭と文化村祭りの一本化という課題解決に向けて積極的に取り組んでいただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	37
事業名	文化村祭						教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	1,959	令和元年 度	1,735	令和2年 度	0	所管係	社会教育係
事業目的	ゴールデンウィーク中に町文化協会祭と合せて、町の歴史や文化遺産を活用した各種イベントを開催することで、町内外の参加者に郷土の歴史及び文化の啓発を図る。							
事業内容 (Plan)	町文化協会、地域ボランティア、町立博物館、町立図書館、その他関係機関と密接な連携を図り、町文化協会祭と合せて、町の歴史や文化遺産を活用した参加・体験型イベント等を中心とした文化村祭りを展開することで、生涯学習の拠点施設である海南文化村の存在や、町の歴史・文化の継承及び啓発を図っていく。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	子どもの日の映画上映を始め、パルケールの参加・体験イベント、甲冑体験、茶道・藍染体験、地域ボランティアによる屋台、図書館によるブックスタートなどが開催する予定であった。しかし、新型コロナウイルスの拡大を受けて早期に中止とした。 文化村祭の代わりとなる事業は行っていない。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上~100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	○	C 目標達成率60%以上~80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性		拡充	○	見直し	今後の方 針 (Action)	リモート形式でのイベントの開催などコロナ禍でも可能な方法を模索し、開催できるようにする。		
	継続							
	縮小							
	見直し							
	休廃止							
二次評価 (外部)	C	見直し	子どもをターゲットとした町の歴史や文化遺産を活用した参加・体験型イベント等がコロナ禍により実施できなかったことは残念であるが、コロナ禍でも実施可能な方法を構築していただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	38
事業名	生涯教育の振興と充実							教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	1,274	令和元年 度	1,663	令和2年 度	2,072	所管係	社会教育係	
事業目的	人が生涯にわたり、学び・学習に取り組むことのできるよう事業の整備を行い、住民一人一人が豊かな生活を送れるようにするために、生涯学習の振興・充実を図る。								
事業内容 (Plan)	住民の文化活動、趣味、レクリエーション活動等の支援をするため、陶芸教室や木工体験、藍染体験、染色教室、レクダンス教室、成人大学など各種多様な教室・体験を行っている。また多岐にわたる活動が行えるよう環境整備をし、住民へ様々な学び・学習の機会を提供できようとしている。								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>人の個性を伸ばし、人と人とのふれあいの場となる各種の活動を提供することで、町内外及び世代を問わない交流が生まれるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動や交流が抑制されてしまう部分もあった。</p> <p>一方で、藍染体験などでは感染症対策をしつつ、マスクの藍染といったキャンペーンを開催し、コロナ禍でも積極的に活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陶芸教室（年10回） ○木工体験（年93回） ○藍染体験（年37回） マスクde藍染体験（7月・8月の間で15日間開催） ○染色教室（年21回） ○レクダンスサークル（年20回） ○成人大学（中止） 								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	文化村がDMVの発着場になることに関連して、人の動きが出てくることが予想されるため、従来の事業に加え、新たな事業を行うことができればと思う。					
	○	継続							
		縮小							
		見直し							
		休廃止							
二次評価 (外部)	B	継続	事業目的を達成するために、コロナの感染症対策を十分に講じた上で、マスクの藍染といったキャンペーンを開催し、コロナ禍でも積極的に活動支援を行ったことは高く評価できる。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	39
事業名	新春ふれあい駅伝大会運営						教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	540	令和元年 度	540	令和2年 度	0	所管係	社会体育関係
事業目的	地域スポーツの振興として、駅伝大会を実施することにより、青少年の体力向上や、町内外を問わず普段交流のない年代が駅伝大会を通じて交流することができる。							
事業内容 (Plan)	<p>毎年1月の第3日曜日に100チームを上限として駅伝大会を実施。二部制で、一部は小学生男女、中高生女子のチームが走る。二部は中高生男子、一般（成人）、オープン のチームが走る。また、小学生男子・女子、中高生男子・女子、一般の5部門上位3 チームと各区間の区間賞を表彰する。</p> <p>参加者目標数 70チーム</p>							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、参加者及び関係者の健康・安全を第一に考慮し開催を中止。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の災禍が数年続く可能性も考慮し、コロナ禍でもできる大会運営の在り方の検討。				
	継続							
	縮小							
	見直し							
		休廃止						
二次評価 (外部)	C	継続	コロナ禍でも開催できる大会運営のあり方についてぜひ検討を進めていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	40
事業名	総合型スポーツクラブ運営補助							教育振興 計画の体 系	基本方針 3
事業費 (千円)	平成30 年度	3,500	令和元年 度	4,000	令和2年 度	4,000	所管係	社会体育関係	
事業目的	地域住民によって組織された自主的な総合型地域スポーツクラブが、より積極的な活動が展開でき、クラブの一層の充実・発展を図るとともに、クラブ活動を通じて生きがいのある生活と活力のある社会づくりを形成することを目的として総合型スポーツクラブの運営に対し、補助金を交付する。								
事業内容 (Plan)	各種スポーツ教室（ボクササイズ、エアロピクス、キッズダンス等）、トレーニングジムの運営、イベント（名所ウォーキング、スポーツレクリエーションフェスタ等）、町からの委託事業（介護予防運動、健康相談・検診後の運動支援等） 開催教室数 17教室								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	各種スポーツ教室（ボクササイズ、エアロピクス、キッズダンス等）、トレーニングジムの運営、イベント（名所ウォーキング、スポーツレクリエーションフェスタ等）、町からの委託事業（介護予防運動、健康相談・検診後の運動支援等） 開催日数 339日 参加者合計数 2609名 ※4・5月新型コロナウイルス感染予防の為休講								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)								
	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)								
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)									
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	各年代に応じた様々なスポーツ教室の実施や既存のスポーツ教室の更なる充実。更なるクラブ会員確保のため、広報の充実や魅力的な事業の検討。					
		継続							
		縮小							
		見直し							
		休廃止							
二次評価 (外部)	C	継続	4・5月の休館により開催日数は減少したが、リモートのレッスンをいち早く取り入れたことは高く評価できる。今後も各年代に応じた様々なスポーツ教室の実施に取り組んでいただきたい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	41
事業名	体育協会助成						教育振興 計画の体 系	基本方針 3・1
事業費 (千円)	平成30 年度	1,470	令和元年 度	1,510	令和2年 度	1,510	所管係	社会教育
事業目的	スポーツ振興のため、海陽町体育協会に対し補助金を交付することにより、各種スポーツ大会の開催、町民が生涯にわたりスポーツを行える環境づくりを行うことにより、町民の健康づくりの推進を図る。							
事業内容 (Plan)	体育協会杯の開催（野球、バレー、フットサル、バドミントン、グラウンドゴルフ等）及びサーフィン、剣道、陸上の部に対しても助成							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	各クラブが様々な活動を行っていることにより、住民の健康増進に役立てる機会を提供することができた。社会体育の振興につながっている。 体育協会開催行事 新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、参加者及び関係者の健康・安全を第一に考慮し開催をほとんどの競技で中止。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
		拡充	今後の方 針 (Action)	大会運営等を各クラブで自主運営ができるように進めていく。				
	○	継続						
		縮小						
	見直し							
		休廃止						
二次評価 (外部)	C	継続	コロナ禍により体育協会杯の大会は中止となったが、コロナ禍が続くことを想定し、大会が実施できる方策の検討を積極的に進めていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	42	
事業名	人権教育の推進						教育振興 計画の体 系	基本方針 4	
事業費 (千円)	平成30 年度	2,429	令和元年 度	2,912	令和2年 度	2,726	所管係	社会教育	
事業目的	学校・家庭・社会・関係機関等が時代の変化に応じた人権教育・啓発活動を推進することを通して、人権尊重の精神の寛容を図り、人権が共存する社会を築くことをめざす。								
事業内容 (Plan)	学校・家庭・社会・関係機関等と密接な連携を図り、同和問題をはじめ日々の生活の中にある人権問題の解決を目指すとともに、真に人権の確立した社会の構築に努める。すなわち、地域住民が交流を図ることを通して相互に理解を深め、地域が一体となったコミュニティづくりを進めて行きたい。そのための研修と住民への啓発を怠らず進めて行く。								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ○町人権教育協議会（年3回開催）・人権研修会は中止 ○人権啓発映画上映会（中止） ○人権啓発コンサート又は講演会（中止） ○分館巡回人権学習会に係る町職員研修会 ○分館巡回人権学習会（中止） ○新型コロナウイルス感染拡大防止標語を文化祭会場に展示 ○人権啓発標語「新型コロナウイルス感染拡大防止」のプラカードを町内約50箇所に掲示 ○新型コロナウイルス感染拡大防止標語クリアファイルを全児童・生徒・全戸に配布 ○人権啓発パネル・ポスター展を海南文化館で開催 ○人権啓発冊子「わたしの思い」発行 <p>今年度は、新型コロナウイルス感染の影響で実施出来なかった事業もあったが、人権教育の推進、啓発については、効果があったと思われる。</p>								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	人権啓発イベントや分館巡回人権学習会等を実施していくことで、地域に根ざした人権教育の推進を図って行く。					
	○	継続							
		縮小							
		見直し							
		休廃止							
二次評価 (外部)	B	継続	コロナ禍で人権啓発のイベントや分館巡回人権学習会が開催できなかったが、分館人権学習会事前研修会を町職員の研修会としたり、新型コロナウイルス感染拡大防止標語を小中高校生に募集し、募集した標語をクリアファイルにし、町内全戸に配布するなど取り組みに工夫が見られ、高く評価できる。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	43
事業名	いじめ・不登校防止						教育振興計画の体系	基本方針 2・4
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	15	令和2年 度	0	所管係	学校教育係
事業目的	多様化するいじめ・不登校問題についての予防対策を行う。また、発生した場合には解決のための取組を実施する。							
事業内容 (Plan)	<p>(1) スクールカウンセラー(SC)事業 (2) スクールソーシャルワーカー(SSW)事業 (3) その他 相談員事業</p> <p>県事業であるSC・SSW事業の申込を行う。 緊急で対応が必要な場合については町雇用の相談員で対応を行う。</p>							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>(1) SC 海陽中学校区1名 宍喰中学校区1名の配置 (2) SSW 海陽町小・中学校1名の配置 (3) 臨床心理士 (1ヶ月に1回・緊急時)</p> <p>緊急時に対応が必要となった際に(1)～(3)の相談員が臨時的に対応にあたる等、柔軟にケース会や相談を実施した。 ただし、虐待等、家庭の課題による不登校の場合は、町の福祉部門や児童相談所との連携が必要であり、連携・役割分担が不十分であった。 また、相談の中にはLINE等のSNSを介したトラブルの発生もみられ、今後いじめに繋がる可能性も考えると早期からのネットリテラシー教育の必要性もみられる。</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
		B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・SC・SSW・相談員との定期的な情報共有。 ・町の福祉部門・児童相談所との連携強化。 ・保護者・児童生徒へのネット使用時の注意喚起。 				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	緊急時に対応が必要となった際にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用や町雇用の臨床心理士がすばやく対応し、ケース会や相談を実施したことがいじめ・不登校問題の予防や解決のための対策に繋がられていることは高く評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	44
事業名	博物館の運営の充実							教育振興 計画の体 系	基本方針 5・1・ 2・3
事業費 (千円)	平成30 年度	3038	令和元年 度	3193	令和2年 度	14051	所管係	教育委員会	
事業目的	海陽町の特色ある歴史・文化の啓発に努める。また、町民ギャラリーを活用し、町内外の作品等を企画展示し芸術文化の向上を図る。								
事業内容 (Plan)	博物館の通例行事として、年3回程度の企画展と、それに関連した講演会やイベント等を開催した。 また、例年より続く徳島県立博物館との共催事業「海部自然・文化セミナー」、地元の有識者や徳島県立文書館の講師を招き「古文書の読み方講座」等の講座を行った。 さらに、館内にある町民ギャラリーを、海陽町民が芸術を楽しむ場として活用する方針に変え、プロアマ問わず誰でも作品展示を行った。 また、令和2年度はDMV運行に伴うさらなるコンテンツの充実を行った。								
事業の実施状況及び成果等 (Do)	企画展は春に「平成の海陽を振り返る」、夏に「はじめての埋蔵文化財」、秋から冬にかけて「鞍奥の歴史と文化」、そして2月～3月に徳島県立博物館の移動展「徳島まるづかみ展」の4回を実施した。また、夏休み期間中に阿佐海岸鉄道とコラボを行い、ミニ企画展としてDMV運行への機運醸成の一環で「あさてつ展」を実施した。 町民ギャラリーは4月から12月までおおよそ1か月単位で展示替えが行われ、継続の成果が表れ認知度が上がり、町民ギャラリーを目当てに博物館を利用する町民が増え、入館者数へ大きく貢献した。しかし、DMV運行に伴うコンテンツ充実の一環で町民ギャラリーの使用方法が変わることから、博物館内での開催が不可となり実質廃止となった。 DMV運行に伴うコンテンツ充実の一環には、FreeWi-Fiを活用したコンテンツの充実、VR、大型プロジェクターや上映する動画制作、着用体験用の兜・陣羽織、刀剣の重さを体感できる設備の導入を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症による影響でDMV運行の遅れ、接触を伴う体験事業の休止等により令和2年度中に実施ができていない。また、FreeWi-Fiを活用したコンテンツの中に手持ちのスマホが音声ガイドになるコンテンツについても現在整備中である。								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
今後の取 組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	今後は感染症拡大防止対策を行いながら、導入されたコンテンツを効率よく実施していくための工夫が必要となる。特に、接触を伴う兜・陣羽織着用体験、あまり普及していないVR等、来館者が多い時にも対応ができるような工夫が必要となってくる。					
	○	継続							
		縮小							
		見直し							
		休廃止							
二次評価 (外部)	B	継続	コロナ禍による閉館期間があり、来館者が減少したが、閉館期間を利用して、FreeWi-Fiを活用したコンテンツの充実、VR、大型プロジェクターや上映する動画制作、着用体験用の兜・陣羽織、刀剣の重さを体感できる設備の導入したことは、コロナ収束後に来館者増に繋がる事業となっている。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	45
事業名	文化財保護・活用						教育振興 計画の体 系	基本方針5
事業費 (千円)	平成30 年度	4,214	令和元年 度	2,118	令和2年 度	2,100	所管係	社会教育係
事業目的	海陽町内の文化財の保護及び活用のための措置を行い、町民の文化的向上に資するとともに、我が国文化の進歩に貢献することを目的とする。							
事業内容 (Plan)	文化財の保護・活用についての活動は、例年定期的に行われる海陽町文化財保護審議会において諮問を行い、文化財が置かれている現状を鑑み事業内容が適正かどうかを見極め、実施を行う。 文化財に対する直接的な保護活動は主に、屋外の文化財草刈りまたは芝の整備作業、そして町指定文化財の説明板修繕及び設置作業となる。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	文化財審議会の実施について、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため実施が遅れが生じた。また、回数も例年に比べて1回減少している。しかし、1年度に1件（または一か所）のペースで整備を進めている説明板の修繕及び設置作業については実施ができ、令和2年度の町指定文化財の説明板修繕及び設置作業は、町指定史跡「寺山古墳群跡」を対象に行った。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	文化財保護審議会において諮問を行いつつ必要な施策を行うことを前提とする。草刈り事業は継続、町指定文化財の説明板の修繕及び設置作業は、引き続き1年度につき1箇所程度を目安に継続的に新調していく。 また、今後は指定文化財の現状変更に係る事業等についても大きな課題となっている。				
	○	継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	継続	文化財の維持管理はもちろんであるが、DMV運行による交流人口増加を想定して、効果的な活用方法の検討に一層取り組んでいただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

評価番号 46

事業名	阿波学会総合学術調査						教育振興 計画の体 系	基本方針 6
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	500	令和2年 度	500	所管係	社会教育係
事業目的	海陽町に関する科学的調査及び研究活動を通じて教育・文化の振興に寄与するとともに、研究成果を地域環境・地域社会の向上に還元する。							
事業内容 (Plan)	徳島県内の学術専門団体から成り立つ「阿波学会」によって、海陽町の調査・研究活動が行われる。今回は全部で11分野に分かれており、各分野の研究活動結果は「中間報告会」「最終報告会」を行い、一般に公開するとともに、『総合学術調査報告書』を発行する。 なお、本事業は2年計画で、令和2年度に終了をする。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	3月に実施した「最終報告会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行った上で現地開催を行い、総勢約60名の参加があった。また、最終報告書の発行も予定通りに終了し、各関係者・文化財関係者に謹呈を行った。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性		拡充	今後の方 針 (Action)	当初より2年計画の事業であったため、令和2年度3月に開催された「最終報告会」と、報告書の発行をもって事業を終了する。				
		継続						
		縮小						
		見直し						
	○	休廃止						
二次評価 (外部)	B	休廃止	コロナ禍であったが、事業目的が計画どおり実施でき、評価できる。今後も、学術調査結果の効果的な活用方法を検討していただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	47
事業名	グローバル教育の推進						教育振興 計画の体 系	基本方針 6・2
事業費 (千円)	平成30 年度	11,513	令和元年 度	18,717	令和2年 度	20,673	所管係	学校教育係
事業目的	海陽町の児童生徒の「使える英語」の力を伸ばし、グローバル化に対応できる人材を育成する。							
事業内容 (Plan)	将来、児童生徒が「使える英語」を身につけて、グローバル化に適応できる人材に成長できるよう英語を学ぶ環境づくりや体制整備を行う。具体的には、英語教育スタッフの充実した配置、小中学校との連携、実用英語技能検定無料化、CEFRに基づく「話すこと」のレベルの可視化、イングリッシュキャンプや動画、地域における英語活動を通して、児童生徒が興味の広がるよう活動していく。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>① 授業・・・昨年度通りに実施(小1・2月① 小3・4週① 小5・6週② 中週④)</p> <p>② 帯活動・・・小中で開始(小5・6・中1(2学期～)・中2・中3(1学期) 毎週実施) (その他の学年 不定期で実施)</p> <p>③ イングリッシュキャンプ・・・コロナにより中止</p> <p>④ 英語イベント(海外文化体験)・・・2回開催</p> <p>⑤ 英検補助・・・小6・中3全額補助・中1・中2半額補助 (小6/4名・中1/11名・中2/10名・中3/51名 中3にて91%受験)</p> <p>⑥ 学校外英語教室(POP English)・・・小9名参加</p> <p>⑦ オンライン英会話・・・実喰中1名・海陽中5名</p> <p>⑧ 小学生対象英検町内実施・・・文化館・各中学校にて開催、小学生8名受験</p> <p>⑨ 英会話チャレンジ・・・昨年度通りに実施(中2・参加率95%)</p> <p>⑩ 動画配信・・・コロナによる休校中にyoutube配信</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性	○	拡充	今後の方 針 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動について、小1～4においても毎週実施していく。 ・やりとりの力を身につけるために小学校5・6年生において、オンラインホームワークを実施し、1対1でALTと会話する機会を作っていく。 ・英語の力が定着するよう、繰り返し学習することができる動画を作成し、配信を行う。 ・中3で英会話チャレンジを実施し、CEFR(A1)の達成率を確認する。 				
		継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価 (外部)	B	拡充	町教委の重点施策である「中学校を卒業したら簡単な日常会話ができる子どもたちを育てる」ためにコロナ禍であるが、子どもたちの実態に応じた様々な事業を展開しており、大きな成果が見られ、高く評価できる。今後も英語が話せる「海陽っ子」を目指して、さらなる取り組みの充実を期待する。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	48	
事業名	英語検定補助						教育振興 計画の体 系	基本方針 6・2	
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	287	令和2年 度	229	所管係	学校教育係	
事業目的	児童生徒の英語力及び学習意欲の向上を図るため、英語検定の補助を行う。 海陽町小中学生の英語力の把握を行い、英語事業を効果的に行う。								
事業内容 (Plan)	<p>○英検補助 小6・中3：無料 中1・中2：半額補助 (※1年度につき、1つの受験が対象)</p> <p>○英検町内実施 小学生を対象に町内で英検を実施することで、英検受験・英語学習に対する意欲を高める。</p>								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>(英検補助)</p> <p>中3 受験率91% (英検のいずれかの級を受験) 英検3級以上取得率34% (令和元年度36%) 小6 受験率100% (英検Jrゴールド) 英検Jrゴールド80%以上取得率12%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の協力のもと、今年度も高い受験率を得ることができた。 ・小6における目標 (英検Jrブロンズ80%以上取得8割) は昨年度達成したため、今年度はゴールドに変更。 ・昨年度と比較して、目標である英検3級以上の合格率には伸びがみられなかった。 ・半額補助については中1：10名、中2：11名を補助。 <p>(英検町内実施)</p> <p>2月に海南文化館において実施。7名参加 (1名は中学校受験) 小3→1名、小4→1名、小5→3名、小6→3名 (受験級：5級6名 4級1名 準2級1名)</p>								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)								
	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)								
	○	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
今後の取 り組みの 方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
		拡充	今後の方 針 (Action)	・英検3級取得の目標について課題を分析し、 対応していく。					
	○	継続							
		縮小							
	見直し								
		休廃止							
二次評価 (外部)	C	継続	中学校3年時の英検3級取得率の目標に達していないが、英検の受験率が高く、英語検定補助の成果がみられる。また、小学生の英検受験の機会を増やすために文化館を受検会場として実施したことはすばらしい取り組みであり、高く評価できる。今後も小学校から英検を受ける機会を増やし、中・高への資格取得につなげていただきたい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	49
事業名	ALT派遣事業						教育振興 計画の体 系	基本方針 6・2
事業費 (千円)	平成30 年度	7,046	令和元年 度	10,258	令和2年 度	15,364	所管係	学校教育係
事業目的	ALT等を増やし、学校での英語授業や町の英語事業を充実させる。							
事業内容 (Plan)	小・中学校の全ての英語授業にALTが参加できるように配置する。							
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	<p>(ALTの配置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海南小学校・海部小学校1名 ・穴喰小学校・穴喰中学校1名 ・海陽中学校1名 <p>小学校については全ての授業、中学校についても8割以上の授業に参加できている。POP Englishや動画配信、英語イベント等へも参加し、授業外においても英語活動を実施した。</p>							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上~100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上~80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
今後の取 り組みの 方向性		D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)						
	○	拡充	今後の方 針 (Action)	英語授業において言語活動が中心となる中、ALTの役割は今まで以上に期待されることが予想できる。研修やミーティングを重ね、ALT自身が英語教育の中心となれるよう調整していく。また、学校教育・地域活動を協力しながらも、役割分担できるよう国際交流員の配置も検討していく。				
		継続						
		縮小						
		見直し						
	休廃止							
二次評価 (外部)	B	拡充	英語活動の充実が図れたように、英語を話せる子どもたちを育てるためには「ネイティブスピーカー」の活用が必須である。小中各校1名のALTの配置に向けて事業を進めていただきたい。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	50
事業名	ICT教育の推進						教育振興 計画の体 系	基本方針 6・2
事業費 (千円)	平成30 年度	2,257	令和元年 度	6,319	令和2年 度	2,449	所管係	学校教育係
事業目的	ICT環境の整備を進め、子ども達の学力向上やコミュニケーション能力・倫理的思考力の育成を図る。							
事業内容 (Plan)	1. ICT機器の導入 ICT機器を有効的に活用し、教育の質を高めると共に、小規模校のデメリットを解消する。 2. AI（人口知能）搭載教育支援ソフト（Qubena）の導入 3. 臨時休業に対応するための動画授業の配信							
事業の実施状況及び成果等 (Do)	1. 遠隔授業システム機器の活用 東みよし町の足代小学校の5年生と海部小学校の5年生が、遠隔システムを活用し、プログラミング教育で学習したことを発表し合ったり、お互いの町の紹介をしあったりして交流を深めた。 2. AI搭載アプリによる学習 一人一人の理解の状況に応じて、AIが判断し、児童生徒個々に対応した問題を出題してくれ、すべての児童生徒が個々の力にあった個別最適化の学習を進めた。 3. 臨時休業に対応するための動画授業の配信 新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業中における学習保障等の取り組みとして、動画配信（Youtube）の活用を実施。							
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価							
		A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)						
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)						
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)						
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)							
今後の取り組みの方向性		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 休廃止	今後の方針 (Action)	近年、教員にはICT活用指導力が求められており、ICT利活用のスキル向上は急務である。 今後ICT支援員（デジタル人材派遣制度の活用）を確保し、教職員の利活用に向けての研修を行い、スキル向上に努めていきたい。				
二次評価 (外部)	A	継続	県内で、いち早く1人1台タブレットを配置し、AI教材等のアプリを導入、活用したことで、個々に応じたわかりやすい授業が展開できている。また、オンライン授業や動画配信、プログラミング教育等、ICT教育の県内での先進地として取り組んでいることにも高く評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

							評価番号	51
事業名	GIGAスクール構想（1人1台端末の整備）						教育振興計画の体系	基本方針6・2
事業費（千円）	平成30年度	0	令和元年度	0	令和2年度	34,760	所管係	学校教育係
事業目的	学校におけるICT環境整備の目標達成として校務用コンピュータ・一人一台タブレット端末の整備（機器の入替・更新）							
事業内容（Plan）	ICTを活用した学習活動の充実を図り、子ども達の力を伸ばしていく教育の実践。また、校務の効率化や標準化を図るため校務支援システムやメール配信システムの導入を行う。							
事業の実施状況及び成果等（Do）	1. GIGAスクール構想により、1人1台タブレット端末（450台）の整備と、ネットワーク環境の整備を行った。							
一次評価（内部）（Check）	事業の達成度評価							
	○	A 目標達成率100%超（目標を超えて達成している）						
		B 目標達成率80%以上～100%（目標を達成、もしくは概ね達成している）						
		C 目標達成率60%以上～80%未満（目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する）						
	D 目標達成率60%未満（目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する）							
今後の取り組みの方向性	○	拡充	今後の方針（Action）	タブレットの増設等の新たなICT機器の導入も視野に、情報機器の進展にどの程度まで対応できるかが、今後の大きな課題である。				
		継続						
		縮小						
		見直し						
		休廃止						
二次評価（外部）	A	継続	県内でもいち早く1人1台タブレット端末やネットワーク環境の整備ができており、高く評価できる。					

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	52
事業名	キャリア教育の推進							教育振興 計画の体 系	基本方針6
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	0	所管係	学校教育係	
事業目的	地元海陽町の生活を支えている人材との出会いや交流体験、職業に関わる体験などの活動をとおして、自らの生き方や将来の職業生活について考えを深め、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の役割や自分らしい生き方を実現させようという心を育成する。								
事業内容 (Plan)	夢の実現に向けて自己を切り拓く態度や能力を培うキャリア教育を推進する。 児童生徒の発達の段階に応じ、小学校段階から学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育を推進し、一人一人の望ましい勤労観、職業観を育てる教育の充実を図り、中学校職場体験学習プログラムを活用した職場体験を行う中学校を支援する。								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	○キャリア教育全体計画の作成、キャリアパスポートの活用 ○今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校での、地域の特色を生かした職業体験等を中止したが、オンラインによる講演出前授業を実施した。								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)								
	○	B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
	C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)								
今後の取 り組みの 方向性	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
		拡充	今後の方 針 (Action)	○小学校、中学校のキャリア教育を支援するため、児童生徒が自分自身のキャリア発達を継続的に記録、蓄積するキャリア・パスポートについての活用の周知徹底を図る。 ○今後も、産業界や経済団体等から学校に講師派遣を依頼し、学年単位での出前授業や講演を実施する。					
	○	継続							
		縮小							
		見直し							
	休廃止								
二次評価 (外部)	B	継続	子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するため、今後も学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、子どもたちの発達の段階にふさわしいキャリア教育を推進していただきたい。						

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価シート

								評価番号	53
事業名	統合型校務支援システムの導入							教育振興 計画の体 系	基本方針6
事業費 (千円)	平成30 年度	0	令和元年 度	0	令和2年 度	230	所管係	学校教育係	
事業目的	県内すべての小・中学校に、令和3年度から「統合型校務支援システム」を導入し、業務の効率化と児童生徒一人一人に向き合う時間の確保により、教育の質の向上を図る。								
事業内容 (Plan)	「統合型校務支援システム」とは、教務系（成績処理、出欠管理、時数等）、保健（健康診断票、保健室管理等）、指導要録等の学籍、学校事務等の機能を統合したシステムのことであり、「手書き」・「手作業」が多い教員の業務の効率化を図る観点で有効であり、令和2年度中に、教育委員会及び町内小中学校に整備導入を進める。								
事業の実 施状況及 び成果等 (Do)	・このシステムは、広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステムを集約した「統合型校務支援システム」と、メールやスケジューラー等の機能を持つ「グループウェア」で構成している。令和2年度中に、教育委員会及び町内すべての小・中学校へ整備導入した。これにより、教育委員会と学校との文書の收受や情報交換の効率化にもつながった。								
一次評価 (内部) (Check)	事業の達成度評価								
	○	A 目標達成率100%超(目標を超えて達成している)							
		B 目標達成率80%以上～100%(目標を達成、もしくは概ね達成している)							
		C 目標達成率60%以上～80%未満(目標達成はやや不十分であり、手法の変更等、大幅な改善を要する)							
	D 目標達成率60%未満(目標達成は不十分であり、事業の根本的見直しを要する)								
今後の取 り組みの 方向性		○	拡充	今後の方 針 (Action)	県内の全小中学校が共通の校務支援システムを導入したことで、通知表や指導要録、進路指導資料作成に係る児童生徒の成績情報を管理する負担が大きく軽減された。また、異動に伴う業務負担も軽減され、教職員の働き方改革にもつながった。今後は、全教職員が操作できるように、操作・活用方法の研修に参加していく。				
		○	継続						
			縮小						
			見直し						
			休業止						
二次評価 (外部)	A	継続	事業目的が十分に達成されている。今後は、全教職員がスムーズに操作できるよう、操作・活用方法の研修を重ねて欲しい。						

4. 外部評価委員会の意見

(1) はじめに

令和2年度に教育委員会が実施した事務事業の管理及び執行状況の点検・自己評価について、事務事業評価シート及び海陽町第2期教育振興計画等、関係資料に基づいて点検・評価を実施しました。

点検・評価を実施した53の事業について、一つ一つでいねいな説明があり、質問に対しても適切な回答がありました。

評価を行った53の主要事業それぞれについて、個別に評価シートの二次評価の欄に所見を述べさせていただいておりますので、以下、海陽町教育委員会の実施する点検及び評価に関しての方法や内容、教育委員会の活動状況、評価シートの表記法について意見(総評)を述べさせていただきます。

(2) 総評

①点検及び評価に関する方法や内容について

令和2年度の事務事業の一次評価(自己評価)は、海陽町第2期教育振興計画(平成28年度から令和2年度までの5年間)の目標及び令和2年度海陽町教育基本方針に基づいたものとなっており、おおむね公正な事業運営を行っていると思われられます。また、今回実施した53の事務事業ごとに事業内容、事業の実施状況、評価、今後の方針が評価シート一枚にまとめられており、事務事業の計画の進捗状況や成果、課題が十分に確認することができました。特に今年度は評価の観点に目標達成率を導入したことで、評価の客観性の度合いが高まったと思われられます。

各事業所管係による事業の達成度評価については、A、B、C、Dの4段階の一次評価(自己評価)のうち、Bが全体の約64%に当たる34事業、Aが約8%の4事業、Cが約26%の14事業、Dが1事業という結果となっております。昨年度は、Bが全体の約83%、Cが約8%、Dが0でした。昨年度と比較しますと、Cの割合が高くなっています。

この原因は、令和2年度がコロナ禍にあり、各種事業が、中止や大きな制限や制約を受け、事業の目的が十分に達成できなかったことが考えられます。令和2年度のように新型コロナウイルス感染症の流行等の不可抗力により、事業が中止等となった場合、達成度を一律に評価するのではなく、年度途中での事業内容の見直しや実施方法の工夫、成果指標や数値目標の変更等、柔軟な対応も必要であると強く感じましたので、早急な仕組み作りの検討をしていただきたいと思います。

各事業所管係による今後の取り組みの方向性については、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」、「休廃止」の5段階の一次評価(自己評価)のうち、全体の約85%に当たる45事業が「継続」、拡充が約6%の3事業、「縮小」、「見直し」が

1 事業ずつ、「休廃止」は3 事業という結果となっております。

昨年度も意見を述べさせていただきましたが、限られた財源や職員数の中で、新たな教育課題や社会情勢の変化に的確に対応していくために、スクラップ・アンド・ビルドの導入や他部局、他団体が行っている類似事業の統合、町民の自助・共助に委ねることが可能なものについては、積極的に移譲するなど現在行っている事務事業の見直しや改善を早急に行う必要があると考えます。「継続」とした事務事業においても従来通りの内容で実施するのではなく、事業の目的が十分に達せられるよう優先度や緊急度等を考慮し、計画的に実施するとともに新たな発想による効果的な取り組み方法についても検討していただきたいと思います。

②教育委員会の活動状況について

○教育委員会会議については、毎月1回、開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会において各委員とも高い関心と問題意識のもと、海陽町の教育に関する様々な案件に関して検討し、議決されています。また、教育委員からの情報提供や事務局からの事業の進捗状況及びその他の関連事項について、委員と事務局の間で意見交換が活発に行われている様子が見られます。

○総合教育会議が年3回開催され、町長と教育委員会が十分に意思疎通を図り、地域の教育の様々な課題に効率的に取り組んでおり、十分に目的を果たしています。今後も、町長と教育委員会の連携強化を図るとともに協議・調整された成果を今後の教育行政の推進に生かしていただきたいと思います。

○学校訪問については、年1回の町内の幼・小・中学校の訪問や学校行事への参加等により、児童生徒、教職員の様子を見ていただいたり、意見交換等を行っていただいています。本町における学校教育の現状を把握する上で大変有意義であると思いますので、今後もより一層、学校との連携を密にし、教育活動の効果的な推進に尽力されることを期待します。

○様々な教育委員会活動についての情報公開は、住民の皆さんの理解を得たり、関心を持ってもらうためにとっても重要なことと考えますので、積極的な情報発信に努めていただきたいと思います。

③評価シートの表記法について

今回、評価シートの文章を読ませていただいて感じたことですが、文章を書く際の表記方法や用字用語が評価者でまちまちのところがあり、気になりました。

教育委員会の事務事業の執行状況について、住民の皆さんに正確にわかりやすく伝えていくためにも適切な用字用語の使用や表記方法の統一を心がけていただきたい

いと思います。

(3) おわりに

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、小・中学校の臨時休校を始め、社会教育施設の休館、中止、縮小、延期等を余儀なくされた事業がたくさんありました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、適切な感染防止対策と実施方法の工夫を凝らした事業展開を両立する「ウイズコロナ」の状態がまだしばらく続くと思われま

す。今後も教育活動や住民の皆さんの生活への影響を最小限にするよう、コロナ禍での迅速な対応をしていただくとともにコロナ収束後の事業の在り方も今から検討していただきたいと思

います。教育委員会においては、今回の事務事業の点検・評価を基に事務事業の再点検・再確認を行い、住民ニーズに応じた教育行政の一層の推進を図ってください

令和3年8月4日

海陽町教育委員会外部評価委員会

叶崎 正

登井 啓文

資料 1

海陽町第 2 期教育振興計画体系

平成 28 年度～令和 2 年度（5 年間）

基本方針 1	社会全体で子どもたちを育てる地域協働体構築の推進
推進施策①	海陽の子ども応援団の推進体制の充実
推進施策②	3 館協働（文化館・博物館・図書館）による地域力の向上
推進施策③	スポーツ少年団、社会体育それぞれの連携の推進
推進施策④	家庭の教育力の充実
基本方針 2	主体的に学び合う、たくましく生きる力を育てる学校教育の充実
推進施策①	主体的に学び合う授業の展開に努め、たくましく生きるための確かな学力の向上
推進施策②	3 館協働による連携した活動や社会教育と学校教育の連携による地域力活用の推進
推進施策③	小規模化やグローバル化にとまどない、各学校の特色を生かした教育、幼・小・中・（高）の縦・横の連携を生かしての交流学习によるグローバル化の推進
推進施策④	特別支援教育を指導方法の根底に据え、教師の資質の向上
推進施策⑤	子どもたちが心身ともに豊かでたくましく育つ保健・体育指導の充実
推進施策⑥	主体的に判断し行動できる「生き抜く力」を育む防災教育の徹底
基本方針 3	生涯にわたり楽しめる、生涯学習・生涯スポーツの振興
推進施策①	3 館協働を中心とした生涯学習の推進
推進施策②	生涯学習・生涯スポーツに対する環境の充実
推進施策③	子どもから高齢者まで、気軽に参加でき、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションに親しめる体制の充実
推進施策④	社会教育と学校教育との連携の推進
基本方針 4	一人ひとりを尊重する人権教育の推進
推進施策①	社会教育全体を通して、人権に関する多様な計画性のある学習活動、啓発の推進
推進施策②	学習者の自己教育活動、意識変革に繋げる指導者の拡充
推進施策③	学校教育を通して、知的理解だけではなく態度化・行動化に現われる人権意識の育成
推進施策④	人権尊重を基盤とする学習環境の整備
推進施策⑤	指導内容や方法についての工夫・改善を図ることができる指導者の資質の向上
基本方針 5	郷土の遺産である文化財の保存と活用の推進
推進施策①	文化財を魅力的にわかりやすく、まちづくりや地域の活性化にいかしていくための効果的な活用内容の整備
推進施策②	多くの住民が、とくに子どもたちが郷土の良さに対する理解を深め、継承・発展に繋げるふるさと学習の推進
推進施策③	文化財に主体的に関わり、身近に感じ、魅力を広げる活動の推進
推進施策④	様々な文化的な要素を持つ各施設や各文化財との連携
推進施策⑤	魅力をより理解するための新たな研究の推進
基本方針 6	社会の変化に対応する教育の推進
推進施策①	ICT 環境の整備を進め、児童生徒の情報活用能力の育成や情報モラル教育の推進
推進施策②	小学校の外国語活動・英語科から中学校英語科の連携を中心とした英語教育全体の抜本的な充実、強化
推進施策③	学校の教育活動全体を通じて行う「働く」ことへの関心・意欲を高めるためのキャリア教育の推進
推進施策④	年々加速する環境問題に関心を持ち、課題解決に向けた環境教育の推進
推進施策⑤	今後の社会の変化を見据え、それに対応する教育が展開できる教員の資質の向上

資料 2

○海陽町教育委員会外部評価委員会設置要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、海陽町教育委員会（以下「教育委員会」という。）に置く外部評価委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第 2 条 委員は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 教育委員会が実施した事務事業について、外部の視点から評価を行い、教育委員会に評価結果を報告すること。
- (2) その他教育委員会が必要と認めること。

(外部評価委員の選任)

第 3 条 委員は教育等に学識を有する者 2 人を教育委員会が選任する。

- 2 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は再任することができる。

(会議)

第 4 条 委員は教育委員会から事務事業の事後評価の報告が行われた場合、外部評価を行うものとする。

- 2 委員は必要があると認めたときは、委員以外の者を出席させて意見又は説明を聞くことができる。

(その他)

第 5 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附則

この要綱は、令和元年 6 月 26 日から施行する。